

昭和三年三月

昭和三年四月二十七日

杉森 第五之四號

陸接國境關稅二關スル調査

其ノ四 (佛蘭西關稅制度)

朝鮮總督府財務局

佛蘭西關稅制度

目次

第一章 「ゼクス」及「オート・サヴオア」自由地帯

第一節 沿革及總論……………一

第二節 施行規則……………一四

第三節 内國稅ノ見地ニ於ケル自由地帯……………二七

第二章 接境地帯ノ所有權

第一節 沿革……………三一

第二節 各國境ニ施行スル特別制度……………三五

第一項 白耳義……………三五

第二項 瑞西及獨逸……………三九

第三項 伊太利……………四四

目 次

第四項 西班牙……………五〇

第三章 「モナコ」公爵領

佛蘭西關稅制度

本稿ハバレイシ著佛蘭西關稅制度第一卷(一九一三年版)一

六頁以下國境關稅ニ關スル特殊制度ノ部分ヲ譯述シタルモノナリ

第一章 「ゼクス」及「オート・サヴオア」自由地帶

第一節 沿革及總論


一五四、十八世紀ノ後半期ニ於テ「ゼクス」國內ニ施行セル間接消費稅徵收ハ其ノ成績甚惡シク爲ニ千七百七十五年十二月二十二日王令ヲ以テ之ヲ廢止シ直接稅ヲ以テ之ニ代ヘタリ、然レドモ間接稅ノ減免ハ「ゼクス」國ヲ「外國ト看做シタル」條件ノ下ニ行ハレタルモノニシテ以來「ゼクス」國ノ住民ハ佛國王ニ關稅納付ノ義務ヲ免除セラレ其ノ接境國トノ交通ヲ自由ニ行フコトヲ得タルモ五種ノ農產品ニ對シテハ「フランス」ヨリ貨物ヲ移入シ又ハ「フランス」ニ移出

スルニハ之ニ對スル稅率表ノ關稅ヲ納付スルニアラサレハ行フコトヲ得サリシモノナリ

從前「ゼクス」國ト外國間ニ存置シタル關稅線ハ「ゼクス」國ト「フランス」國トノ間ニ移サレ其ノ地位ヲ明カニセラレ亦「フランス」東部ノ他ノ數地方モ同一地位ニ置カレタリ

千七百九十年十一月五日ノ有名ナル法律ヲ以テ「フランス」ノ關稅領域線ヲ統治線ニ移シタル後ニモ「ゼクス」國ノ地位ハ他ノ總テノ地方ノ如ク「フランス」ノ關稅領域ノ一部トセラレタルモノナリ。

一五五、然ルニ舊時ノ「ジュネーヴ」共和國ノ千八百十五年「フランス」ヨリ分離シ「スイス」聯邦ニ合併セラレタルトキ「ゼクス」國ニヨリテ境界セラレタル「ヴオ」郡トノ陸上ノ直接交通ヲ許サンカ爲地方的性質ノ利益ヲ之ニ特許セリ且此ノ特許ハ「ゼクス」國ノ「フランス」ニ殘タル地方ニ對シ亦所謂關稅上ノ見地ニ於ケル自由地帯ヲ聲明セラレタリ、此ノ改正ハ千八百十五年十一月二十日ノ「パリ」條約第一條第三項ニ「ジュネーヴ」行政區ト「スイス」間トノ交通ヲ設定セン爲東部ニ於テハ「レマン」湖ヲ以テ中部ニ於テハ「ヴオ」行政區ノ領域ヲ以テ北部ニ於テハ「ヴオ」行政區域ヲ以テ西部ニ於テハ「グエルツア」河流及「フランス」ニ於



ケル「フエルネー」町村ヲ境トシテ「コレクス・ボシイ」町村ヲ圍繞スル行政區線ヲ以テ境界セラル「ゼクス」ノ地帶ハ「ジュネーヴ」行政區ニ併合スル爲聯邦ニ割讓スヘシ「此ノ境界線外ニ於ケル總テノ地帶ヲ以テ「フランス」ノ關稅線トスヘシ」ト決定シタリ要スルニ此ノ條款ハ千七百七十五年ノ王令ノ根本規定トナリタルモノニシテ其ノ他ハ之ヲ敷衍シタルニ過キス。

「ジュネーヴ」新行政區ニハ等シク「ヴァレー」ノ「スイス」行政區ヨリ「サゲオア」公爵領土ヲ以テ分離セラレタル故ニ關稅上ノ見地ニ依リ領土内ニ於テ存在シタル接續ノ中斷ヲ避ケンカ爲他ノ自由地帶即「サルド」自由地帶ヲ「ジュネーヴ」地方ヨリ「ヴァレー」行政區ニ至ル「レマン」湖岸域ニ設定セリ（千八百十六年三月十六日「トユリン」條約第三條）該地帶ハ其ノ延長約二十キロメートル幅員三キロメートル乃至八キロメートルニシテ又國際條約ヲ以テ設定セラレタル「ゼツシエン」自由地帶及「サルド」自由地帶ハ何レモ斯ノ如クニシテ現出シタルモノナリ。

一五六、「ゼツクス」國ノ地帶ニ編ジテ見ルトキハ「フランス」ノ經濟制度ニ支配セラレタルニ十五年ハ實ニ現在ニ於テ舊制ニ復スルコトノ困難ナル商工業ノ關係ヲ確立シタルモノナリ

註 「ゼクス」國ハ「エカルヌズ」ヨリ多大ノ進出ヲナセル「ジュラ」ノ西ノ頂上ニ止マリテ關稅線ハ現在實際ニ於テハ

「ヴァルセリン」迄即「ゼクス」ノ行政區迄撤退セリ千八百九十七年三月二十九日財政法律第七條第三項ニ依レハ「ヴァルセリン」河ノ左岸ト「ジユラ」ノ山嶺間ニ於ケル「ヴァルセリン」流域ハ「ゼクス」國ノ支配下ニ置クヘシトアリ此ノ地位ハ關稅線ノ「ゼクス」國境線ニ移サレタルニ於テハ當然終了スヘキモノナリ

右ニ關シテノ論難攻撃ハ自然ニ勃興シタルヲ以テ「フテンス」政府ハ千八百十六年ニ至ルヤ「ゼクス」國ニ於テ生産スル乾絡（二七八、〇〇〇キロ）ニ對シテハ關稅免除ニテ「フランス」ニ輸入スルコトノ許可ヲ施行セリ（千八百十六年十一月十八日省令）大藏大臣ハ此ノ施策ヲ地帶人ニ特許シタル權利即「本國ノ住民ノ「フランス」人ト同様ニ共通法ノ主張ヲナシ得ルノ結果之ヲ不都合ナク行ヒ得ラルト認メタルトキハ其ノ住民ニ施行スルコトハ總テ正當ナリ」トノ理由ニ立脚シテ單ナル閣議ノ決議ヲ以テ實施シタルモノナリ

右理由ノ價值ナキコトハ論證ノ必要ヲ俟タズ明カナル所ニシテ即「フランス」主權ニ支配セラレル土地居住ノ他ノ「フランス」市民例ヘハ舊殖民地人ノ如キヨリノ主張ニ對シ又各產品ニ對シ果シテ此ノ理由ニ據リ免稅ノ承認ヲ與ヘラルヘキニアラサレハナリ又「ゼクス」國ノ生産者（製革業八、窯業五、製紙業三）ノ其ノ原料品ヲ無稅ニテ「フランス」ヨリ移入シ此ノ生産品ヲ免稅ニテ「フランス」ニ移出スルコトヲ要求シタル請願ヲ政府ノ受ケタルトキ即千八百十九年ニハ此ノ理由ヲ再ヒ提出スルコトヲ避ケタルハ之ヲ立證シテ余リアリ 千八百十六年ノ決議ヲ暗

黙ノ中ニ葬リタル大臣ハ千八百十九年ノ參議院ノ意見ニ適合シテ此ノ特惠ヲ彼等ニ許容スヘキ
コトヲ千八百十九年五月七日決定シタリ

註、右參議院ノ意見ニ依レハ「千八百十五年十一月二十日條約ニ依リテ「フランス」ノ此ノ領土ニ於テノ關稅線ハ「ジュ
ラ」ノ兩方ニ移換シテ「ゼクス」行政區ハ此ノ線外ニ置カルヘシトアルヲ以テ「ゼクス」國ノ商工業ノ關係ハ全然變動
ヲ來シタルコト、之ニ基キ此ノ條約以前ニ存在シタル總テノ製造業ハ「フランス」製造業者ノ資格ノ爲總テノ利益ヲ失
ヒ國內關係ニ於テ有シタル利益ハ此ノ資格ニ附帶シタル負擔ノミヲ存續スルコト、彼等ハ其ノ請願スル二重ノ許可ヲ容
レラレサルニ於テハ此ノ關稅線ノ移動ハ其ノ産業ヲ必然的ニ破壊スルノ脅威ヲナスノ結果ヲ生スルコト、一面ニ於テハ
彼等ハ其ノ生産原料ニ不足シ其ノ國ニ於テ之ヲ生産シ又ハ生産スルコトモ得ヌ彼等ハ「スイス」及「サヴォア」ヨリ原
料ヲ自由ニ輸入スルコトモ得ヌ他面ニ於テハ二〇、〇〇〇人ノ人口ヲ包有スル「ゼクス」國ニ於テハ其ノ生産品ヲ消費
スルコトモ亦消費サルコトモ能ハス又他ニ「フランス」ノ隣接外國ヘノ擲口モナク從テ本行政區ニ於テ特許ヲ享有ス
ル同業者ハ貿易ノ自然破滅ヲナスノ外ナキコトヲ考慮シ

叙上ノ製造業者ハ千八百十五年十一月二十日條約以前ヨリ結果ニ基ク換言スレハ其ノ原料品ヲ國內ヨリ移入シ其ノ生産
品ヲ國內ニ移出スルノ自由ノ權利ハ既得權ノ資格ヲ有シ之ヲ妨害シ得サルコト且彼等ハ此ノ權利ヲ失ヒタルコトナク又
不可抗力ノ事變ノ事故ノ外之ヲ失ヒ待ラレサルコト「フランス」政府ハ此ノ事變ニ對シ補償スルノ義務ヲ存置シタルコ
トヲ信憑スルノ外ナキヲ認メ

上述ノ理由ニ對シ或ハ移出及移入ニ於ケル小量輕微ノ價額ノ物件ニ依リ要求セラレタル請願ノ許可ハ國庫ニ對シ又ハ國
内産業ニ對スル損害即チ未ダ管テナカリシ「フランス」關稅障壁内ニ所在スル同業者ノ支持スル公ノ賦課金ヲ納入スル
「フランス」生産業ニ關係シテ發生シ得ヘキ損害ノ如キヲ理由トシテ相當反對ヲ唱ヘラルコトアランモ上記ノ利害關係ニ

於テハ敢テ根據アリ又妥當ナル批難ニアラサルヘキコトト認メ

然レドモ動モスレハ此ノ種ノ許可開放ニハ濫用ニ流レ易ク例ヘハ外國產品ノ密輸入ノ庇掩トナク得ヘク或ハ裁可スヘキ其ノ原則ヲ關稅線外ニ於ケル其ノ地位ヲ單ニ利セシメ移出入ノ利便ノミノ目的ニ於テ設定シ同時ニ此ノ地帯ニ於ケル產業ノ多大ノ發展ヲナサシムルニ於テハ重大ノ結果ヲ醸スニ至ル可ク而モ國內產業ニ及ホス損害ヨリノ利源ノ吸收ニ依リテ成スヘキ擴張ハ寧ロ排除ニ値スルモノナルコトヲ認メタリ

然レドモ此ノ弊害ハ左記ニ依リ之ヲ避ケ得ヘシ

一、此等ノ免許ノ承認ハ千八百十五年十一月二十日條約以前ニ存在シタル製造業ニ限り補償ノ名義ノミヲ以テ付與シ之ヲ其ノ既成ノ生産能力ニ比例シテ制限スルコト

二、右ノ比率ヲ得タル後地帯内ニ於テ需用ヲ充シ得ヘキ數量ヲ控除シ唯必要數量ニノミ内國ヨリ移入原料ヲ限定スルコト同時ニ國內ニ移出スヘキ製造品ノ數量ヲ「ゼクス」ニ於テ消費シ又ハ「スイス」及「サヴェオア」ニ輸出シ得ラルヘキ數量ヲ控除シテ同比率ニ制限スルコト

三、此ノ例外的免許ノ承認ハ上記ノ理由ニ依リ「將來免許ヲ受クヘキ數量ヲ加増セサルコトヲ當事者ニ了解セシムルコト」トアリ

又參議院ノ意見ハ「ゼクス」國ノ八名ノ製革業者、五名ノ窯業者、三名ノ製紙業者ノ請願スル免許賦與ニ付テハ輸入ニ對スル生産原地證明書ノ提出及其ノ他慣用ノ違反防止法、及將來規定セラルヘキ規則竝制ニ服スヘキ義務ヲ附加セルモノナリ

即チ此ノ制度ハ「ゼクス」國ニ於ケル「フランス」原料品ノ假輸出ノ形式ヲ具ヘタルモノニシテ其ノ數量ハ製造業者ノ必要程度（其ノ既成ノ發展程度ニ於テ）即チ此ノ施策ニ對スル恩典ヲ

加増スルコトナク現狀必要量ニ制限セルモノナリ尙又此ノ制度ハ關稅線ノ改正ニ依リ製造ニ對シ生シタル損害ノ負擔ハ政府ニ爲スヘキモノタルコトノ解釋ヲ以テ寧ロ現金ノ補償ヨリモ此ノ種假輸出(輸出入稅ニ相當スル稅ノ免除)ノ制度ヲ彼等ニ特許スルヲ得策トシタル論據ニ依リテ辯明セラレタリ故ニ大藏大臣ハ管理行爲ノ理由ニ於テ又然ラスシテ千八百十六年ニ於ケル如ク法律ノ解釋ノ理由ニ於テ此ノ制度ヲ採用シタルモノナリ 關稅ノ免除ニ依リ生スル利害ノ相殺ヲナシタル此ノ管理行爲ハ批難ヲ容易ニ招クヘキ餘地ヲ與ヘタルハ勿論ナルモ終ニ政府ハ關稅線外ニ所在スル領土ヲ外國ト看做シタル原則ヲ尊重シタルモノナリ 之ニ依リ地帶ノ住民ハ「フランス」市民タルノ資格ニ基ク「權利ノ主張ヲナシ得ル」問題ヲ惹起シ得ラレサルニ至レリ幸ニシテ此ノ決定ハ未タ關稅上ノ見地ニ於ケル「フランス」領内ノ自由地帶ノ經濟的地位ト政治的地位ノ間ニ屢々發生シタル紛議ニ對シ解決ヲ與ヘタルモノトス

千八百二十八年十月二十三日閣議ハ「セクス」國ノ農工業ニ對シ其ノ生產品ノ或ル產品ノ國內移動及輸移出ノ各品目ニ對シ必要ナル原料品ノ國內ヨリノ移入ニ依ル供給ヲ容易ナラシムル目的ヲ以テ採用シタル此等ノ行政制度ノ完成ヲナス」爲ノ一ノ決定ヲ加ヘタリ

此等法規ハ國內ヨリ自由地帶仕向ノ或種原料品ノ移出ニ對シ又自由地帶原産ノ或種農產物又ハ

製造品ノ「フランス」關稅領域内移入ニ對シ大藏大臣ヨリ毎年承認スル *Credit* (信用)ヲ基礎トシ免稅ヲ施行セルモノナリ

一五七、「ゼクス」國ハ千八百六十年ニ於テ「サヴォア」ノ併合セラレタルトキ「フランス」トノ關稅關係ニ關シテハ前述ノ如キ地位ニアリタルカ千八百十六年三月十六日「サルデーニユ」國王ト「ジュネーヴ」共和國間ニ締結シタル條約ノ共和國ト「ヴァレ」行政區間ノ經濟的關係ヲ密接ナラシメンカ爲第二ノ自由地帶ヲ設定シタルハ前述ノ如シ「フランス」政府ハ「サヴォア」ニ於ケル「サルデーニユ」王ノ權利義務ノ繼承者トシテハ「トュリン」條約ノ「フランス」ニ課シタル義務ニ服從シタルノミニ止マラスシテ進ンテ千八百六十年六月十二日命令ヲ以テ併合國ヨリ一層廣域ノ自由地帶ヲ設定セリ之ニ依リ關稅線ハ此ノ新地帶後方線迄後退シ規定スルニ「當該線外ニ於ケル「サヴォア」地帶ハ「ゼクス」國ニ施行シタル特別制度ノ利益ヲ享受スヘシ」トセリ

註 帝國政府ノ此ノ行爲ノ原因及法律上ノ性質ハ大審院ニ於ケル檢事總長「サリユ」氏著「タロツ」全集(千八百九十五年)ノ註釋ノ中ニ記述セリ之ニ依レハ「併合ハ千八百六十年三月二十一日讓渡條約第一條ニ依リ人民投票ノ決議ヲ以テ承認セラレタルモノナリ然レトモ「オート・サヴォア」ノ「フランス」ノ縣ヲ構成スヘカリシ地方ニ於テ其ノ投票ヲ徵スルニ「可爾シテ地帶ヲ」ノ標語ヲ有スルモノ大部ヲ占メタリ故ニ國籍變更ニ對スル加盟ニハ新自由地帶設定ノ目的ヲ充分加味

シタルモノト云フヘキモノナルモ投票ハ此ノ點ニ關シテハ法律上ノ價值ナク「フランス」政府ニ所屬スル主權ヨリ期待シ又ハ回避ヲナサントスル希望ノ意思表示ハ一ノ矛盾ニ過キサリシナリ然ルニ地帯政策ハ新臣民ノ感情ヲ收拾スルニハ機宜ノ政策ナルコトヲ認メラレ且自由貿易論者ノ思想ハ當時多大ノ勢力ヲ有シタルヲ以テ終ニハ通商條約ノ協定ヲ見ルニ至レリ然レトモ「フランス」政府ハ千八百十六年ノ「サルド」小地帯ニ次キ事實ニ於テ此ノ法律の何等ノ權利ナキ「可而シテ自由地帯ヲ」ノ投票ヲナセル町村換言スレハ「シャブレ」「フォシニー」ノ舊國、「ヂユネーヴ」ノ一部「オート・サヴオア」縣ニ於ケル「トノン」及「ボンヌヴィル」及「セン・ジュリアン」ノ一部ニ對シ其ノ投票ヲ承認シテ此等ヲ自由地帯ニ總括シタルモノナリト 依之「オート・サヴオア」ノ自由地帯ノ設定ノ理由ノ「ゼクス」國ノ其レノ理由トノ相異點ハ「フランス」政府ノ外國政府ト之ニ關シ協約ノ取極ヲナスノ必要ナク法律ノ廢止ヲナシ得ル所ノ一方的行爲ニアリタルコトハ見逃シ得ヘカラサル事實トス然ルニ右關稅免除地帯ノ「トユリン」條約ニ依リ多大ノ縮少ヲ餘儀ナクセラレタルヲ觀ルトキハ協約上ノ性質ヲ有スルモノト云フヘキナリ「サヴオア」ハ必然的ニ「フランス」ニ割讓セラレタルモノニアラスシテ該條約ノ結果ニ依ルモノニシテ又千八百十六年ニ設定セル地帯ヨリ生産セル或ル種產品ノ「スイス」自由輸入ニ對スル特惠制度ハ他ニ千八百五十一年六月八日ノ協約ヲ以テ規定シタリ

千八百六十年六月十二日命令第一條項ノ欠陥トセル點ハ自由地域ノ確實ナル位置ニ關シ四十年間モ明晰ヲ缺キタル儘存置セラレタル所ニアリタルカ千八百九十九年三月三十日法律ノ此ノ此ノ曖昧ヲ正シ「エクリュス」ノ大部分ニ於ケル自由地帯ノ境界ヲ極メテ明瞭ニ「ロール」ノ左岸ハ其ノ「ユッス」ノ河トノ合流點迄、此ノ河ノ右岸ハ「クリユセイ」ト「ゲロアジー」間ニ所在スル地點迄ニシテ「セン・ジュリアン」ト「アンネシー」行政區ノ境界ヲナス所ニ於テ止マリ「アンネシー」行政區ト「ジュリアン」行政區トノ境界ハ「サヴオア」縣ト「オート・サヴオア」縣ノ境界ノ會合スル地點迄トシ此ノ郡ノ境界ハ「イタリー」ノ國境線ニ於テ會合スル所迄トシ此ノ起點ヨリハ即「イタリー」國境トス」云々ト規定セリ

上記命令ハ該命令ノ關スル制度ヲ最近ニ編成スヘキコトヲ豫定シタルモノニシテ即「オート・サ
 ヴォア」自由地帯ノ或種關稅法規ヲ編成セル千八百六十年七月二十五日省令ノ發布ハ之ニ依ル
 ナリ 然ルニ本省令ニ於テ五種ノ產品即乾酪、有角動物、皮、挽キタル材木及石盤石ニ對シテ
 規程ヲ定メタルハ蓋シ法令制定ノ其ノ當初ニ於テ政府ノ注意ヲ喚ヒタル物品ノミニ止マリタル
 ガ爲ナルハ明カナリ

然レトモ右ハ其ノ特有ノ施行規則ニハアラスシテ即千八百六十年ノ法令ノ特質ヲ表ハセルモノ
 ニシテ參議院ノ指示セル意見及千八百十九年ノ省令ニ絶對的ニ近似セント務メタル思想ノ趨向
 ヲ表ハセルモノト云フヘシ 固ヨリ或產業家ノ主張シ得ヘキ所ノ免稅ニ代ルヘキ特許問題ノ起
 ラサリシハ勿論ナルモ「フランス」國民タルコトヲ撰擇スル產業家ニ「フランス」ノ或經濟制度
 ノ利益ヲ分與セントシタル苦心ノ結果タルコトハ前記命令ノ第二條ノ此ノ利益ヲ「獨リ」「フラ
 ンス」國籍ニ屬スル製造家ニシテ併合條約前ニ存在シタルモノニ」制限セルヲ見レハ判然スヘ
 シ又該規定ノ農產物ニ施行セラレタルモノナルコトハ明カナリ何トナレハ耕作ニ於テハ生産機
 具ノ變化ヲ生スヘキカ故ナリ換言スレハ土地ハ常ニ同一ナレハナリ

一五八、千八百六十年七月二十五日命令ハ「オート・サヴォア」ノ中立地ノミニ規定シタリ又千

八百六十年六月十二日命令ノ「ゼクス」ト此ノ地帯ニ一律ノ制度ヲ施行シタルトキニ於テハ正シク此ノ地帯ノ制度ハ「ゼクス」國ニ施行ノ制度ト異リタルコトニ依リ發セラレタルモノニシテ千八百六十三年五月三十一日ノ省令ハ此ノ變則ヲ撤廢シ千八百六十年ノ命令ト同一趣旨ニ於テ殆ント同一ノ條件ニ於テ承認セラレヘキ免稅規程ヲ兩地ニ施行シタリ

右規程ハ「フランス」帝國內ノ消費ニ於テ關稅免除ノ適用ヲ受クヘキ物品ノ指定ヲナシ此ノ指定物件ニハ地帯ニ於ケル工業又ハ農業產品ノ大部分ヲ含ミタルモノナルカ外國ヨリ輸入セル同種物品ニ對シテハ輸入稅ヲ賦課スル規定ヲ定メタルモノナリ千八百九十二年一月十一日法律ハ往時關稅ヲ免除シタル或ル物品ニ課稅シ以來免稅ノ特權ヲ享受スヘキ物品中ニ之ヲ掲記セシムルノ必要ヲ失フニ至リタルモ亦千八百九十三年一月二十五日省令ハ之ヲ免稅品表ニ追加シタリ

註 此等ノ產品ハ「バター」、乳、卵、食膳用果實、「シードル」用果實、生又ハ乾シタル蔬菜、葱、馬鈴薯、秣草、車軸草及苜蓿草ノ穀粒、家禽、鹽漬ノ豚肉

千八百九十三年命令及其ノ後發布ノ省令ヲ以テ免稅取扱ヲ受クル地帯產品ノ原表ニ合法敷衍シタルコトヲ批難スルモノアルモ右批難ニ對シテハ唯千八百六十三年ノ行爲ハ省令ノ價值ヲ正當ニ有シタルコト依テ此ノ種ノ行爲ハ之ヲ有效ニ改正ノ得タルコトヲ首肯セシムルヲ以テ充分ナリ千九百零五年六月十六日上院ニ於テ内閣議長ノ説明シタルハ右ノ理由ニ據

千八百六十三年命令ハ千八百六十年ノ命令ノ規定ヲ特ニ再ヒ提出スルコトナク獨リ『併合條約前』ニ存在シタル產業者ノ生産業ニノミ免稅許容ノ利益ヲ保留シタルニ對シ或產業家ハ併合設定ノ日附ニ於ケル中立地帯ノ總テノ生産者ノ生産品ニ之ヲ施行センコトヲ要求シタルモ此ノ主張ハ「フランス」人ノ公權ノ根本原理ニ反シテ「フランス」市民ノ一部ノモノニ特殊ノ理由ヲ以テ特殊ノ便益ヲ享受セシメタル總テノ辯證ヲ少シモ動カシ得ルノ條理トハナラスシテ千八百九十一年五月二十七日參議院ノ強硬ナル反對意見ニ依リ撤回セラレタリ

一五九、爾來幾何ナラスシテ「スイス」トノ通商關係ノ一頓挫ニヨリテ「ゼクス」國ノ地位ハ其ノ生産品ノ「ジュネーヴ」國ヘノ販路ヲ斷タレタルヲ以テ事態重大ニ陥リタルニ對シ大藏大臣ハ商務大臣ト協調シテ 一、各般ノ農產品ノ國內移入ニ對シテハ總テ免稅トスヘシ 二、千八百九十三年一月一日ニ於テ營業ヲナセル工場ヨリ生産ノ製品ハ同様ノ免稅ヲ享クヘシトノ命令ヲ爲シ其ノ對策ヲナセリ（千八百九十三年四月一日命令）千八百八十一年六月十四日協定ノ施行ニ依リ「オート・サグネア」中立地ノ產品ハ其ノ捌口ヲ「スイス」ニ保障セラレタルモ（千八百八十二年六月三十日通牒第一五六五號）制度ノ統一ヲ保持スル目的ヲ以テ「ゼクス」國ニ

適用シタル便益ヲ「サヴォア」地帯ニモ施行スルニ至レリ

一六〇、現在ニ於テハ「サヴォア」地帯ヨリ「スイス」ヘノ輸入ニ關シテハ常ニ「現行ノ」千八百八十一年ノ協約ヲ以テ支配セラル

註 千八百八十一年六月十四日「フランス」ト「スイス」協約ハ三十年ノ一期間其ノ效力ヲ有スヘキモノナリ(第十一條)

故ニ千八百八十三年一月一ヨリ施行ヲ開始シタル其ノ有効期間ハ終了トナルモノニシテ又本協約ハ一年ノ猶豫期間ヲ置

キテ廢棄ノ通告ヲナシ得ルモノトス

「ゼクス」國ノ產品ニ對シテハ千九百零六年十月二十日「フランス」「スイス」協約附屬C書ニ特

別規定ノ施行ニ依ル特典ヲ享受ス(千九百零六年十一月二十二日通牒第三六三二號)千九百零八年

六月十九日ノ聯邦命令ハ葡萄酒、牛、豚、皮革ニ對シテ關稅法上ノ便益ヲ承認シ又千九百零十

一年協約ニ關スル上記命令及千九百零六年ノ法律ノ實施ニ對シ適用スヘキ取締規定ヲ制定セリ

「フランス」政府ハ聯邦政府ト協約シタル後自由地帯居住ノ「スイス」市民ノ農産物ニ對シ

「フランス」市民ニ對スルト同一免稅ノ特典ヲ享受セシメルコトヲ規定セリ(千八百九十三年

六月二十九日及九月十九日省令)

「ゼクス」國及「オート・サヴォア」ノ自由地帯制度ニ關シテハ爾來種々ノ異論百出シ強硬ナル

批難ヲ起シ其ノ廢止ヲ議會ニ幾度トナク迫リタルモ此ノ提案ハ其ノ都度一ノ先決問題タル即チ「フランス」ハ任意ニ此ノ地方ニ於ケル關稅網ノ改正ヲ行ハレ得ルヤ其ノ主權ハ現行國際協約コ依リ其ノ效力ヲ減殺セラレタルニアラスヤノ問題ニ衝突シテ其ノ儘葬ラレタリ（千九百三年豫算案ノ對議ニ於テ）

千九百十年三月二十九日關稅法ハ僅カニ右制度ノ改正ノ必要ノ喚起及地帶人ノ特權ノ「暫定的」特質ヲ規定スルニ止メ其ノ第七條ニ規定スル「『ゼクス』國及「オート・サヴオア」ノ自由地帶ノ關稅制度ヲ定ムヘキ新法規ノ發令ヲ見ル迄」「フランス」領内ヘノ移入ニ對シテハ「從來ノ定率法ニ依リ適用シタル減免稅ニ對シテハ」新稅率法ヲ施行セサルヘシトセリ

註 千九百十年四月一日以前ニ實施シタル定率法ノ適用ヘ規定生産原地ノ證明ヲ必要トス 提出書類ノ記載事項ニレテ檢査ノ結果證明セラレサルトキハ法定上ノ鑑定ノ施行スヘレ（千九百十年十二月一日通牒第一一九三號）

第二節 施行規則

一六一、本節ニ於テハ「ゼクス」及「オート・サヴオア」ノ自由地帶ト關稅領域トノ關係ヲ司掌スル現行規則ノ詳細ニ就キ述フヘシ

前記地帶ヨリ發生スル移出ノ點ヨリ云フトキハ自由地帶ハ「外國」ト看做シ又國內ヨリノ移入

ニ關シテハ貨物ノ關稅ヲ通過スルトキハ申告ノ對象物トナリ統計稅ノ納入ヲナスヘキモノニシテ又右ニ對シテハ假免許、免稅通過、保稅倉庫々移ノ會計檢査ヲ施行シ規定ノ戻稅等ノ特惠ヲ享受セシムルモノトス

住 鐵道ニ依リ運送スル通過貨物及輸出貨物ノ稅率ニ關スル規定ハ「ゼクス」國及「オート・サゾア」仕向ノ運送品ニ適用スヘシ（千八百九十五年八月六日命令）

一六二、自由地帶ノ貨物ハ關稅領域ヘノ移入ノ點ヨリ云ヘハ原則上外國品ト看做サレ千九百十三年三月二十九日法律第七條ヲ以テ保留セラレタルモノノ外定率法ノ關稅ヲ課セラルヘキモノナリ 然レトモ前節ニ於テ述ヘタルカ如ク此ノ制度ニハ千八百六十三年五月三十一日ノ基礎的命令第三條及以後ノ法令ヲ以テ規定セル條件ノ下ニ除外例ヲ行フモノトス（一五八ノ註參照）

一六三、此ノ特惠制度ハ「Credit d' importation」ノ制度ヲ基礎トスルモノニシテ大藏大臣ハ「エン」及「オート・サゾア」ノ地方長官タル關稅總長ノ提案ニ基キ毎年「ゼクス」及「オート・サゾア」ノ消費量ヲ考量シテ此ノ兩地帶ニ於ケル生産品及製造品ノ關稅免除ヲ施行シ得ヘキ數量ヲ決定スルモノナリ右ノ施行ニ關シテハ農商務省トノ協議ヲ必要トシ又承認スヘキ「Credit」ハ「フランス」人ニ所屬スル事業ノミニ限定セリ。

註 「フランス」人ト外國人トノ共有事業ノ生産品ニ對シテハ免稅ノ特典ハ其ノ數額ノ半額ニ對シテノミニ許容シ他ノ半額ハ

關稅ヲ課スヘキモノトス（千八百九十七年五月二十七日及八月七日省令）

一六

然レトモ自由地帯ニ居住スル「スイス」人モ亦其ノ『農産品』ノ關稅領域ヘノ移入ニ對シテ同

一ノ特權ヲ附與セラレタリ（千八百九十三年六月二十九日及九月十九日省令）

製造産品ニ對シテハ之ヲ生産工場ノ千八百九十三年一月一日以前ニ設立セラレタルモノニアラ

サレハ其ノ生産品ヲ免稅ニテ移入スルコトヲ得サルモノトス

註

此ノ條件ハ農産品ノ移入ニ對シテ強制セサルヘシ尙此ノ條件ハ乾酪製造業人ニハ假令其ノ生産スル乾酪ノ「グライエ
ル」ノ「工業生産」ノ性質ヲ加味スルト雖モ要求セラレサルモノナリ此等ノ事業ハ農業ト同一視シ又其ノ享受スル免稅
ノ利益ハ此ノ資格ヲ有スル「スイス」人ノ乾酪製造業ニモ均霑セシムルモノトス然レトモ千八百九十六年右ニ關シ關係
省ノ合議ニ依リテ特ニ現營業「者」ニ對スル免稅ハ讓渡權及移轉權ノナキコトヲ嚴正ニ規定セリ

上記規定ニ反シ自由地帯ノ或ル種産品ハ單ニ發送地ノ市町村廳若ハ林務署當局ヨリ必要ニ依リ

交附スル生産原地證明書ノ提出ニ依リテ『數量ノ制限ナク』國內ニ移出スルコトヲ得ヘシ

一六四、農場及工場ノ所有權者ハ毎年「Grades」ノ割當ヲ受ケンカ爲所轄官廳ニ對シテ其ノ使

用勞動者ノ數、原料品ノ必要量、原料品ノ常時仕入地、製造品ノ數量及其ノ仕向地ヲ表示セル

申告書ヲ毎年提出スヘキモノニシテ又毎日其ノ製造物品ニ對シテハ製造日額ノ計上ヲナスヘキ

モノトス右計算ハ稅關ノ要求ニ依リ提出スヘキモノニシテ又稅關ハ農場及工場ニ所屬スル作業

場又ハ倉庫ニ於テ或ハ牧場、家畜舎ニ於テ必要ノ検査ヲ隨時施行スルコトヲ得ルモノトス然レトモ輕微ノ輸入税ヲ課セラルル物品、勞動者ノ家庭工場ニ依リ生産セル重要ナラサル製造品ニ關シテハ行政廳ハ前記手續ノ一部又ハ全部特ニ生産ノ計算書ノ提示ヲ免除ス（千八百六十二年五月三十一日省令）

製造場ニ於テ使用スル金屬又ハ材料ハ「フランス」原產品タルヲ要シ若外國產品ナルトキハ「フランス」ニ於テ關稅ヲ納入シタルモノナルコトヲ要ス亦練乳、「シヨコラ」及「ミユラトール」ノ芳香性「リキユール」等ノ製造用砂糖ニ對シテハ特ニ此ノ條件ヲ要求スルモノナリ（千八百六十三年五月二十一日省令第十七條）上記ノ理由ニ依リ「シヨコラ」及芳香性「リキユール」製造目的ノ精製糖ハ國內ヨリ地帯ニ移出スルトキハ戻稅制度ヨリ之ヲ除外スルモノナリ故ニ該品ニ附帶スル移動書類ニハ「本品ノ輸出ハ單ナル移出ニ依リテ」行フコトヲ明記スヘキモノトス但シ稅關ハ懷中時計ノ機械及其ノ他ノ時計附屬材料ノ製造ニ使用スル鋼、銅及真鍮ノ原產地ニ對シテハ詮索ヲ行ハサルヘシ

註 自由地帯ニ於テ修飾ヲナサンカ爲送付セララルル時計附屬材料ニ對シテハ検査官ノ認定ニ依ルモノトス（千八百六十二年八月十五日命令）小商輪（時計材料）ニ關シテハ許可ナク生産原地證明書ナクトモ免稅ヲ許容スヘシ（同布令）

且又製造所ニ於テ使用スル羊毛、麻及皮ニ對シテハ其ノ生産原地ノ證明ヲ強制セサルナリ

註 此用ノ革及釘ハ等シク「フランス」ヨリノ移入品ナルコトヲ要ス（千八百六十三年七月三日命令）

綿糸製造機械ハ特ニ「フランス」ヨリ移入ノモノ又ハ外國産品ナルトキハ關稅納入ニ依リ「フランス」內國貨物トナリタルモノヨリ移入スルヲ要ス（千八百六十三年五月三十一日省令）又其ノ他總テノ機械器具ニシテ特ニ練乳工場ニ於テ使用スル食料品貯藏ノタメノ硝子器及葉、鐵製ノ鐘ニ對シテハ亦同一ノ條件ニ依ルモノトス（千八百七十四年二月十五日命令及千八百六十三年七月三日命令）

一六五、或産品ニ對スル特惠制度ノ許容ニツキ特ニ條件ヲ附スルモノアリ例ヘハ牛類ノ如キ動物ハ同一物ノ表示タラシムル行政廳ヨリ供給スル「ニツケル」製ノ卸ヲ右耳ニ添付スル條件ノ下ニ免稅ノ特許ヲ爲スモノトス

註 此ノ卸ニハ一方ニハ所轄稅關名及「ヨリ一〇、〇〇〇」迄ノ字組ヲ以テ番號ヲ表ハシ他面ニハ「フランス」稅關ナル語ヲ

表ハシ又稅關ハ其ノ添付ニ必要ナル操作ニ付テハ之ヲ他ニ任シ自ラハ單ニ特殊ノ缺ヲ以テ之ヲ緊束スルノミトス

此ノ添付ハ稅關官吏立會ノ下ニ一定ノ期間ニ規定ノ場所ニ於テ爲スモノニシテ自由地帯ノ總テノ動物ニシテ此ノ證票ヲ有セス又ハ除去セラレタルトキハ外國ノ動物ト看做シ之ニ依リ關稅領

域ニ輸入セラルルトキハ關稅ノ徵收ヲ行フモノトス但シ此ノ濫用疑ナク誠實ナル辯明アリタルトキニハ偶然紛失シタル釐ハ稅關長ノ許可ニ依リ別ニ添付スルコトヲ得

稅關ハ番號順ニ依リ家畜ノ所有者氏名、其ノ市町村、證票ヲ有スル動物ノ性、年齡、特徵、移入ノ日附及移入稅關名ヲ記載シタル目錄ノ提出ヲ求ムルモノトス

國內ヨリ自由地帶ニ到着シタル家畜ニ對シテハ其ノ所有者ハ有稅地域ノ輸出稅關ヨリ交附セル通過免狀ニ就キ目錄ヲ作成シ右免狀交附ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ違反ノ場合ハ特許權失效ノ處罪ノ下ニ此等ノ書類ヲ提出スヘキモノトス該動物ノ證票ノ添付ハ稅關ヨリ指定ノ期日ニ行フモノトス

自由地帶ニ於テ出產セル幼獸ニ關シテハ其ノ出產ノ日ヨリ十五日ノ期間ニ於テ申告ヲナスヘキモノニシテ六ヶ月以内ノ期間ニ於テ稅關ノ市町村當局ト合議ヲナシテ定ムル期日ニ證票ヲ附スヘキモノトス

自由地帶ノ動物ニシテ釐ヲ添付セラレタルモノハ差別ナク總テノ關稅ヨリ關稅領域ニ連行シ來タルコトヲ得(千九百九年十月二十日省令)此等ノ動物ハ右稅關ノ法定開應時間ニ於テハ生産地證明書及生産地ノ市町村長ノ交附セル健康證明書ニ特ニ釐ニ記入セル稅關名及番號並動物ノ

特徴舉示（種類、性、年齢、毛色及特徴）ヲナシテ提出スルニ於テハ數ノ制限ナク移入スルコトヲ得ルモノトス然レトモ此ノ證明書ノ行使有効期間ハ三日ニ制限セリ

自由地帯内ニ於テ出産セル生後六ヶ月以内ノ犢ニシテ未タ證票ノ添付ナキモノハ町村長ノ交附シテ地帯取締ノ検査官ヨリ査證セラレタル健康證明書ノ提出ニヨリテ免稅移入ヲ免許セラレモノトス

自由地帯ノ家畜ノ證票添付ニ對シテハ地方官廳ノ規定ニ依リ定メタル一頭ニ付〇・一〇^法ノ證票添付者ニ對スル報酬トハ別ニ一頭ニ付〇・五〇^法ノ賦課金ヲ徴收ス右報酬ハ直接當事者ヨリ添付人ニ支拂フヘキモノトセリ

證票ノ交互計算ハ鉛封ノ「フラン」ノ交互計算ト同一條件ノ下ニ行ヒ一頭ニ〇・五〇^法ノ賦課金ニ關シテハ會計法上『自由地帯ニ於ケル家畜ニ添付スル證票手數料』トノ特別項目ヲ設ケ『雜收入』ノ『租稅』ニ編入ス（千九百八年三月二十三日閣議決定）

一六六、『荷、駄用ノ家畜及其ノ他ノ牛類』ニ關シテハ當事者ハ各移出ニ對スル申告ヲナシ免許ヲ享クル代ニ毎年ノ始メニ於テ基礎申告ヲ提出シ之ニ依リテ一年間ハ免許抄本』ノ交付ヲ検査官ヨリ受ケ此ノ申告書ニ記載シタル動物ノ一部又ハ全部ノ免稅輸入ヲ許容セラルモノトス

此ノ『免許抄本』ハ二部ヨリ成リ一部ハ即検査官ノ署名ヲナスモノニシテ一年間有效ノ免許ヲ構成シ他ハ市町村長ノ交附スル健康證明ヲナスモノニシテ市町村長ノ署名ヲナシタル日ヨリ三日以内ニ行使スヘキモノトス

一六七、自由地帯ノ生産家ハ穀類ニ關シテハ千九百二年四月二日閣議ノ決議ニ基キ

一、毎年一月一日ヨリ四月一日ノ間ニ於テ耕作ノ種類、播種ヲナセル土地ノ面積、地名及臺帳ノ番號ヲ記載シタル『播種申告書』ヲ作成シ

二、毎年十二月一日前ニ收穫穀類ノ數量ヲ記載セル所謂『收穫申告書』ヲ作成シ

ヲ提出スヘキモノニシテ叙上ノ申告ハ市町村長ノ證明ヲ必要トシ申告人ノ「フランス」若ハ「スイス」人ノ國籍ニ關スル證明ヲ受クヘキモノトス

當該官憲ハ播種申告ノ検査ヲ土地ニ對シテ行ヒ特ニ播種ヲナセル土地ノ測量、該土地ノ臺帳トノ照合並登記局ニ於ケル貸借書類トノ照合ヲ行フモノトス又收穫申告ニ對シテハ穀物調査ヲ以テ之カ取締ヲ施行ス

穀物ノ免許許可ハ所有者ノ詳細申告書ノ提出ニ依リ自由地帯内ニ設置セル當該官憲ヨリ交付スル移入免許ヲ以テ行フモノトス（小麥粉ハ特惠制度ヨリ除外セリ）

總テ移入免許交附前稅關官吏ハ「Credit」ノ推定總數量ト播種土地ノ總面積間ニ存スル比率ヲ以テ播種ノ基礎申告書ニ記載セル面積ノ按分比例ニ依リ各耕作者ニ承認スル分量ヲ計算ス各耕作者ニ對スル個人ノ「Credit」ニ關シテハ免稅額ヲ適宜制限ス

一六八、「ゼクス」國ト「オート・サウオア」中立地帯ニテ收穫セル「葡萄酒」ノ有稅地帯トノ通商ニ關シテ千八百六十三年五月三十一日省令ハ自由地帯原産ノ他ノ生産品又ハ製造品ト同一原則ニ基ク數量ノ制限ヲ以テ稅關ノ免稅許可取扱規定ヲ定メタリ又貨物荷送人ハ其ノ居住地ノ最寄稅務署ニ於テ直稅行政廳ノ特別法規ヲ以テ規定セル條件ノ下ニ運送品ニ仕向地迄附帶セシムヘキ「移動書類」ノ交附ヲ受クヘキモノトス自由地帯ノ耕作者ニシテ其ノ地帯内ニ於ケル產品ヲ賣却スルトキハ其ノ都度稅關及稅務署ノ證明ヲ受クルヲ要ス生産者ノ利益及事務簡捷ノ目的ヲ以テ發令セル千九百八年八月二十八日省令ハ間接稅務署ニ對シ地帯制度實行ノ見地ニ於テ飲料ニ關スル內國法規ニ依リテ自由地帯ニ於ケル葡萄酒取引ノ取締任務ヲ委任セリ

千九百七年六月二十九日法律第一條ニ依リ規定セル『收穫申告書』ハ基礎申告ヲ成シ又關稅行政廳ノ毎年ノ提案ニ係ル歲出豫算額 (Credit ouvert) ノ基礎ヲナスモノトス之ニ依リ免稅許可

ニ關シテハ輸入税關ノ査定ノ結果ヲ保留シ稅務署ノ註釋ヲナシタル運送狀ノ正本ノ檢査ヲ行フ理由ヲ生スルモノトス（千九百八年八月二十八日命令）

一六九、櫻實、乾梅、火酒及櫻實ヨリ製造セル火酒ニ對シテハ關係土地所有者ハ土地臺帳ノ番號、栽植果樹ノ品名竝櫻實及梅實ニ關シテハ「メトリクキンタール」、火酒及櫻酒ニ關シテハ「ヘクトリツトル」ノ單位ヲ以テ收穫高概算數量ヲ計上記入シタル申告書ヲ提出スヘキモノトス免稅ハ「フランス」又ハ「スイス」ノ國籍ヲ町村長ヨリ證明シタル詳細申告書ノ提出ニ基キテ稅關ヨリ交付セル免狀ノ提出ニ依リテ行ハルモノトス

一七〇、乾酪製造所及家畜小屋ノ所有者ハ乾酪製造ノ乳用ニ充當スヘキ牝牛、牝山羊ノ頭數、從業期間及生産額概算數量ヲ毎年申告スルノ義務ヲ有シ且製造次第各個乾酪ニ番號ヲ付シ其ノ番號順ニ依リ備付帳簿ニ其ノ重量ヲ記錄シテ署名シ又乾酪製造人ハ仕向人ノ氏名ヲ記入スヘキモノトス

註 千八百六十三年五月三十一日命令第八條ニヨリ規定セル乾酪製造所及家畜小屋所有者ノ表示スヘキ記號記載ノ手續ハ千八百六十六年七月二十七日閣議ノ決定ニヨリ廢止セラレタリ

各個ノ乾酪ノ番號ハ帳簿ノ番號ト符合スルヲ要シ市町村長ノ證明シタル國內荷送ニ對スル申告

書ニハ各個ノ乾酪ノ有スル重量及番號ヲ記載スルヲ要ス

註 千八百六十三年五月三十一日命令カ「スイス」國籍人タル地帶農業者ニ對シテ特權制度ノ適用ヲ擴張シタルノ結果地帶内ニ「フランス」人ト外國人トノ合資ニヨリ設置シ且同時ニ經營スル乾酪製造業ニ對シテハ農業者又ハ外國小作人ヨリ供給スル乳ニ相當スル其ノ製造乾酪ニ對シ割引ナク免稅特典ノ均霑ヲナサシムルコトヲ得ルモノナリ（千九百十七年十一月二十五日省令）

一七一、其ノ他ノ製造品ニ關シテハ自由地帶ヨリ國內ヘノ自由移入權ノ獲得ハ原則トシテ「C. d. t.」ノ有權者ノ詳細申告書ノ提出ニ依ルヘキモノニシテ此ノ申告書ハ市町村長ノ證明ヲ受クルヲ要シ次ニ所轄検査官ニ之ヲ廻付シ検査官ハ之カ認定及登錄ヲ濟シタル後左記稅關ノ何レカヨリ行フ移入運送狀ノ交付ヲナスモノトス

「アネシイ」、「バシー」、「ベルガルド」、「シャルヴオネクス」、「セルシエ」、「シャテール」、「シリ
ー」、「デジンジー」、「エグイル」、「フウルメ」、「ホレン」、「フランデー」、「グロアデー」、「オット・リ
ユス」、「カ・カイユ」、「ラ・ジエタヅ」、「レ・ブツス」、「マルリオーズ」、「ミヂュー」、「ピリモン」、「ブ
リンデー」、「セルヂン」、「セン・ジョアン・ド・シキス」、「トララン」、稅關

穀物、挽キタル材木、石盤石、瓦及煉瓦、建築用花崗石及石材ハ總テノ稅關ヨリ移入スルコトヲ得、製造シタル革ハ「ベルホール」稅關ヨリ（千八百六十三年五月三十日命令）各種ノ產品ハ「ボンタリエ」稅關ヨリ移入スルコトヲ得ルモノトス（千八百六十八年六月三十日省令）

一七二、然レトモ或種ノ左記物品ニ關シテハ尙一層生産原地取締ノ確實ヲ期スル爲特別ノ義務
ヲ負擔セシメタリ

綿糸||製造者ハ毎日ノ繼續生産高ヲ出來得ル限リ綿糸ノ番手別ニ細別シテ計上シタル計算書ヲ
提出スルコト

綿屑||綿糸製造ニ依リ生スル綿屑ハ各工場ニ於テ毎年使用セラレタル棉ノ數量ノ比例ノ範圍ニ
於テ免稅ヲ許容ス

獸毛製ノ羅紗、被覆物及麻布||稅關ハ之等ノ物品ヲ機械ニ掛ケルトキニ各切地ノ先頭ニ證票ヲ
附スヘシ又自由地帶若ハ國內ヨリ供給シタル原料ニ關シテハ別ニ調査ヲ行ハス(千八百六十三
年五月三十日命令第十二條)

寶玉類、懷中時計、時計附屬品「テルモグラド・メタイオン」音樂用「カリオン」||此等ノ物品
ハ稅關検査官ノ封印ヲ施シタル箱又ハ罐ニ包裝シテ發送スルヲ要ス(千八百六十三年五月三十
一日命令第十四及第十五條) 時計用ノ小齒輪ハ原產地證明及免稅移入ヲ許可セラルモ
ノトス

裝身具用石及第十五條及截タル硝子||此ノ兩品ハ同一ノ手續ヲナスヘキモノトス

皮及革日本品ノ製造ノ時ニ於テ證印押捺ヲ受クルヲ要ス

染色品ヨ自由地帯ニ生産セサル「國內生産品」ノ染色ニ對シ使用セラルル色素及染色材料ハ國內原産品又ハ關稅納入濟ノ外國産品ナルヲ要ス

生産原地證明書提出ノトキニ於テ若證明書ニ印紙稅ノ設定ナキトキハ有稅地帯ノ輸入稅關ニ之ヲ提出スルトキ印紙稅ヲ課セラルモノトス

一七三、自由地帯ノ或種産品ニ免稅ヲ許容シタル法令ニ關スル虚偽ノ申告ニ對シテハ久シク千八百六十三年五月三十一日ノ基本命令ノ第二十條ニ依ル免稅承認ノ取消以外ノ制裁ナク而モ此ノ罰則ハ多クノ場合常ニ效果ナク即チ共謀シテ名義ヲ貸シ關係者ニ失格ノ結果ヲ避ケシムル弊害アリタルヲ以テ千八百九十七年三月二十九日ノ法律第七條ヲ以テ此ノ缺陷ヲ補ヒタリ本條文ニ依レハ「國內ヘノ發送ニ依リ免稅ノ利益ヲ不當ニ得ントスル目的ヲ以テナシタル一般又ハ特別ノ申告ニ對シテハ總テ虚偽ノ申告ヲナシタル貨物ノ價額ノ二倍ニ相當スル罰金ヲ科ス該罰金額ハ五百フランヲ下ルコトヲ得ス」ト規定セリ

註 右ニ關シ上院ニ於テ討議ノ際減刑ニ關スル刑法第四百六十三條ヲ本規定ニ適用セントスル草案ノ提出アリタルモ政府

委員ハ極力之ニ反對シ終ニ其ノ採決ヲ免カレタリ

罰金以外違反者ニ對シテハ地帶原産品ニ適用スル免稅權ノ沒收ヲ判定スルノ必要ヲ認メタルト
キハ稅關長ハ特別報告ヲ以テ監督行政廳ニ之ヲ委附スヘキモノトス

註 千八百九十七年四月十二日通牒、該報告書並前記條項ノ犯則ニ關スル總テノ檢證開書ノ寫ヲ第一課ノ第四局ニ宛ツヘ
キモノトス

第三節 內國稅ノ見地ニ於ケル自由地帶

譯者註 第三節中ニ「稅務署」ト譯セル語ハ原語ニテ *Regie* 即稅務署、財産管理又ハ稅務官ト辭書ニ譯シアリ往々「專
賣管理局又ハ地帶管理局ノ意味ニ解セラルル場合少シトセサルモ辭書ノ譯語ヲ尊重シテ其ノ儘之ヲ用ヒタリ又「フラン
ス」專賣法規ニハ專賣事業官廳ヲ *Magasin* ノ語ヲ以テ表セリ參考ノタメ附記ス

一七四、「ゼクス」及「オート・サヴオア」ノ自由地帶ニ關シテハ關稅地域内ニ於ケルト同一ノ內
國稅法ノ施行ヲナスヘキモノナルモ專賣法及內國稅徵收ヲ防衛スヘキ關稅線ヲ外國側ヨリ撤去
シタルニ依リ自然自由地帶ノ編成ヲナシタル法文ヲ以テ規定セサリシ或種ノ免稅ヲ此ノ地帶ニ
利セシムルノ結果トナレリ

酒精、葡萄酒、林檎酒、梨酒、飲料品ニ對スル制度ハ尙此ノ地帶ニモ國內ト同様ニ施行シ外國
ヨリノ輸入品ニ對シテハ「スイス」及地帶間ノ國境主要道路ニ設置セル稅務署ニ於テ檢證シ又

國內ヨリ自由地帯ニ發送ノ飲料ニ關シテハ等シク自由地帯内ノ間接稅徵收局ニ提出スヘキコトヲ規定セリ、然レトモ千八百七十四年十二月三十一日命令ノ規定ニ依レハ右飲料品ハ自由地帯ト「フランス」關稅線トノ間ニ設置セル國境稅關ノ何レカヨリ檢査ヲ受クヘキモノトセリ右稅關ニ於テハ自由地帯ヘノ移入ヲ檢證シ稅務署ノ内國保稅運送免狀ニ移出濟ヲ證明シ之ニ署名シテ運送人ニ交附スルモノトス若シ此ノ證明ナキトキハ間接稅徵收局ハ右内國保稅運送免狀ノ負擔ノ解除ヲ拒絕スルモノトス

註 飲料品ノ「フランス」ト「スイス」間及「スイス」聯邦領土ヲ經テ行フ「フランス」ト地帯間ニ於ケル移動ヲ規定セシカ爲聯邦政府ト特別規定ノ協定ヲナセリ該規定ハ千八百七十八年三月二十三日命令ノ目的ヲナスモノニシテ即地帯内ニ於ケル稅務署ニ對シ外國ト當該地帯間ニ於ケル關稅障壁ノ缺如ニ依ル違反ヲ容易ニ防禦スルコトヲ許シタルモノニシテ即樽入又ハ樽入ノ葡萄酒、火酒「リキユール」及「シードル」ヲ伴フ總テノ「フランス」保稅運送免狀ヲ「フランス」輸出稅關ニ相當スル「スイス」輸入稅關ニヨリテ檢證シ又反對ニ「スイス」稅關ヨリノ保稅運送免狀ヲ之ニ相對スル「フランス」稅關ニ於テ檢證スルコトヲ協定セルモノナリ

「フランス」ヨリ「スイス」ニ輸出ノ飲料ニ對シテハ保稅運送免狀ハ「フランス」稅關ニ於テ輸出ノ檢證署名ヲナシ之ヲ鐵道職員又ハ運送人ヲ以テ「スイス」輸入稅關ニ届ケシムルモノトス「スイス」輸入稅關ニ於テハ檢査ヲ施行シタル後『本證書ハ封印又ハ封票ニ基キ證認シ此ノ移動書類ヲ鐵道又ハ前記飲料ノ運送人ニ返付ス』ト證明シテ署名ヲナスモノトス

「フランス」ヨリ「スイス」通過ニテ自由地帯ヘノ運送ニ關シテハ「フランス」輸出稅關ニ於テハ等シク運送ヲ認許シ「ス

イス」輸入税關ニ於テハ到着貨物ヲ檢證シ別ニ之ニ對シ「スイス」領土通過ニ對スル保稅運送免狀ヲ交附シ次ニ「フランス」税關發行ノ免狀ニ證認手續ヲナシ之カ移動書類ヲ地帶ノ稅務署ニ提出スル爲繼道又ハ飲料運送人ニ返付スルモノトス

「フランス」ノ官署（關稅線内ノ稅關及地帶内ノ稅務署）ハ「スイス」ヨリ「フランス」ヘノ飲料ノ運送ヲ保障スル爲「スイス」税關ヨリ交附スル移動書類ニ同様ノ註ヲ付シテ其ノ到着品ニ對スル證明ヲナスモノトス（千八百七十六年二月二十九日及千八百七十八年三月二十三日命令）

兩國ノ國境ヨリ飲料移動ノ取扱ヲナス指定稅關名ハ千八百八十三年九月十八日及千九百十年二月十三日並其ノ他ノ日附ノ命令ヲ以テ規定セリ

燐寸ハ燐寸ハ稅務署ヨリ原價ニ相當スル最低價格ニテ販賣シ箱及包裝ハ燐寸ノ國內再移入ヲ防止スル方法ニテ輸出品ニ特ニ貼付スル證票ヲ附スルモノトス（千八百九十年六月十九日命令）

麥酒ハ自由地帶ニ於テハ製造稅ノ徵收ヲ施行セサルヲ以テ有稅地域ニ自由地帶ヨリ麥酒移入ヲナストキハ當該麥酒ノ少クトモ免稅書類ノ添付ナキトキハ製造稅ヲ含ム定率表ノ規定關稅ヲ賦課スルモノトス然レトモ免稅書類添付ノ場合ニハ唯純關稅ノ免稅ヲ適用スルノミニテ製造稅ハ之ヲ徵收スルモノトス若シ申告人ニシテ稅關ノ含有量檢定ニ關シ異議ノ申立ヲナストキハ之カ機關分析場ニ見本ヲ提出シ其ノ分析成績ニヨリテ精算ヲ行フモノトス

蠟燭日本品ハ「フランス」ノ有税地帯ト同一條件ニ於テ徵稅ヲ行フモノトス

骨牌日本品ハ「フランス」製造ノ骨牌ハ地帯内ニ於テハ輸出價格ヲ以テ販賣ヲ行フモノトス

保證稅日本品ハ外國ヨリ輸入シタル金銀細工品ニ對シテハ自由地帯ニ於テハ證票、試験ノ何レノ稅ヲモ亦如何ナル手續ヲモ強制スルコトナシ此ノ種製品ニシテ國內ヨリ自由地帯ニ移出スルモノニ對シテハ外國輸出ト看做シ免稅ヲ受クモノトス(千八百九十八年二月六日省令)

火藥及「ダイナマイト」ハ火藥ハ稅務署ヨリ輸出價格ヲ以テ販賣セラレ「ダイナマイト」ニ對シテハ內國稅ヲ徵收セス

鹽日本品ノ消費稅ハ百キロニ法ニ減稅ス

砂糖日本品ニ對シテハ自由地帯ニ於テハ如何ナル稅ヲモ徵收セス國內ヨリ地帯ヘノ運送ニ對シテハ外國輸出ト看做シ免稅ヲ行フモノトス

煙草日本品ニ於テハ輸出ト同率ニ低減シタル販賣價格ノ範圍ニ於テ專賣法ヲ施行ス 專賣管理局ニ於テハ又安價煙草ヲ(一キログラムニ付ニ法)ニ價格ヲ輕減シ自由地帯ノ全城ニ於テ販賣ス又「フランス」ノ北都國境端ノ或ル町村ニモ之ヲ實施セリ

食酢日本品ハ同一制度ニ依ル

第二章 接境地帯ノ所有權

第一節 沿革

一七五、千七百九十一年以來既ニ國境地帯ニ於ケル土地所有者ニ對シテハ其ノ土地ノ收穫物ニ對シ「フランス」人タルト外國人タルトヲ問ハス締約國相互ニ免稅ノ特典ヲ許容シ該特惠制度ニ對スル認許ニ關シテハ單ニ公正契約書ノ提出ニ依リテ取扱ヒタルモノナリ

註、千七百九十一年十一月十七日省令

然ルニ程ナク戰爭ノ必要ヨリシテ「軍需兵糧ノ對策トシテ」外國人ニ所屬スル土地ヨリ生産スル穀類及糧秣ノ輸出ハ穀類及糧秣ノ時價ニ基キ特別ノ事由ニ依リ又ハ鑑定人ノ言ニ徵シテ「フランス」ニ於テ販賣セララルモノヲ除キ之ヲ中止スルニ至レリ

註 千七百九十二年九月十七日命令ニ依レハ穀類及糧秣ニ對シテハ當時ハ單ニ輸出稅ノミニ關シテ規定シアルヲ以テ輸入稅ノ免除ハ當然行ヘレタルモノト解スヘキナリ

一七六、右制度ハ「オランダ」及「スイス」ノ接境地帯ニ對シ或種ノ特權ヲ承認シタル外ハ其ノ儘帝政時代迄維持セラレタリ

「オランダ」トノ國境ニ對シテ施行シタル規定ハ該土地ニ於ケル利害關係上極メテ特有ノ性質ヲ表セルモノト云フヘシ然ルニ「スイス」トノ國境ニ於テハ其ノ起源ニ於テ却テ輸入及輸出ニ對スル二重ノ免税制度ヲ採用シタルカ之ハ現行制度ノ端緒ヲナスモノト云ヒ得ヘク而シテ「接境地帶ノ所有權」ナル語義ハ極メテ嚴格ナル意義ニ解セラレ國境地方ニ所在スル相互ノ不動産ニ限リ適用セラレタルモノニシテ接境地帶ノ所有地ヨリノ收穫物ニ互惠的ニ關稅ノ免除ヲ決定シタルハ革命時代ニ於テナリトス

註 免税ノ利益ヲ享クルニハ耕作地ノ面積、收穫物ノ種類及數量ヲ記載シタル申告書ヲ右耕作及收穫物ノ輸出ニ關シテ起

ル濫用及違反ノ取締ノ任ニアル市町村當局ニ提出シタルモノナリ

一七七、千八百十四年十一月十三日勅令ノ條項ニ依レハ「國境ヨリ五千メートル以内ノ「フランス」國內ニ土地ヲ所有スル外國人ニ對シテハ該土地ヨリノ總テノ生産品ニ對シテ關稅免除ニテ輸出ヲナスノ權限ヲ付與スヘシ但シ該權限ハ「フランス」人ニシテ外國領土ニ所在スル土地ノ所有者ノ其ノ土地ヨリ生産スル收穫物ヲ「フランス」國內ニ輸入スル自由ヲ互惠的ニ等シク許容スル國ニ限リ附與スヘシ」トアリ

之ニ依レハ該勅令ノ趣旨ハ輸出稅ニ對シテ其ノ本旨ヲ置キタルハ明カニシテ而モ其ノ草案ニハ

獨リ該稅ニ適用スヘキ免除ヲ規定セントシタルカ如ク見ヘタリト雖本令ハ何等ノ制限ヲモ規定スルノ趣旨ニアラサルコトヲ自然ニ理解セラレ且以來發布セラレタル關稅定率法ト相俟テ隱健ナル解釋ヲ加ヘラレ十一月十三日勅令ノ目的トスル制度ノ制定ニ對シテハ緊急施行ヲ規定セラレタル省令ヲ移スノミニテ足レリ 此ノ決定ハ事實兩國相互ノ生産品ノ收穫期ニ於ケル移動ニ對シテハ「フランス」側ノ接境地帶ニ所有地ヲ有スル外國人ニ對シテハ木材ヲ除キテ果實ノ免稅輸出ヲ承認シ又外國領土内ニ所有地ヲ有スル「フランス」人ニ對シテハ其ノ生産品ノ「フランス」輸入ニ對シテ總テ「關稅免除ノ下ニ」輸入ヲ免許スルモノナリ 惟フニ前述勅令ハ外國ト善隣關係ヲ制定スル見地ニ依リテ發布セラレタルモノニアラスシテ單ニ國境ヲ以テ分割セラレタル土地所有者ニ對シ「フランス」ノ新統治線ノ實行ノ緩和ヲナサムトシタルモノニ外ナラス 『同一件ニ關スル從前ノ總テノ規定ニ徴シ見ルモ「サヴォア」ノ國境ニ關スル千七百六十年ノ條約「ベルギー」ニ對スル千七百七十九年十一月十八日條約及「スイス」ニ對スル千八百三年九月二十七日條約ニ觀ルモ其ノ趣旨ハ住民所屬ノ土地及農場ノ急激ナル分割ニ對スル時局ノ救匡ニアリタルニ外ナラス』シテ右新令ヲ以テ當時ノ事局及利害關係ノ機宜ノ處置ヲナシタルモノト觀ルヘキナリ 此ノ政策ハ廣域ニ長期ニ涉リテ施行セラレタルモ時代ノ

變遷ト共ニ其ノ本來ノ性質ヲ變ヘルニ至レリ即チ免税ヲ享受スルニハ「所有地ハ舊昔ニアリタルモノ即免税享受ノ承認セラレタル時代以前ニ於テ」所有スルコト必要ナリシモノト謂フヘシ

一七八、由之接境地ノ所有權ニ對シ附與セラレタル特典ヲ獲得スルニハ二重ノ條件ヲ課セラレタリ即チ千八百十四年ノ勅令ノ制度ハ「領土ノ境界ヲ定メタルトキニ「フランス」人ノ所有權者タリシ土地ニ對シテハ、ミ施行セルモノニシテ且該財產ハ此ノ時代ニ「フランス」ノ所有權者ニ所屬スルカ又ハ法律ニ依リテ其ノ「直系」ノ相續人ニ現ニ其ノ所有權ノ移轉シタルカヲ必要トセルモノナリ

輸出ニ對シテハ單ニ領土ノ分界以前ノ所有土地タルコトヲノミ要求シ現在外國人又ハ外國農家ノ手ニ依リテ生産セル其ノ所有土地ノ收穫物ナルコトニテ充分ナリトス

總テ所有權移轉ノ場合ニハ新所有權者ハ「フランス」人ノ外國ニ於ケル土地ノ所有權ニ關スルトキハ其ノ相續證書ヲ、外國人ノ「フランス」ニ於ケル土地所有ニ關シテハ其ノ相續證書又ハ賣渡證書類ヲ稅關ニ提出シテ其ノ權利ノ證明ヲ受クヘキモノナリ

一七九、接境地帯ノ土地所有者ハ毎年收穫期ニ其ノ所有地ニ於テ耕作シタル農產品ヲ各品名別ニ其ノ輸出又ハ輸入ヲナサムトスル生産品ノ概算數量ヲ記載シテ稅關ニ申告スルヲ要シ小麥其

ノ他ノ所有地ノ產品ハ耕作地ヨリ收穫シタル原狀ヲ保チテ輸出又ハ輸入スルヲ通例トス、葡萄酒ハ收穫時期ノ始メヨリ十一月ノ終迄ニ輸出又ハ輸入シ其ノ他ノ產品ノ輸入時期ハ六月一日ヨリ十一月十五日迄ニ終了スヘキモノナルモ輸出時期ハ收穫期ノ始ヨリ翌年ノ四月一日迄ニ行フ可ク規定セリ

收穫品ノ輸出及輸入ハ土地所有權書類ノ檢證ヲ受ケタル國境稅關ノ所轄國境ヨリ行フヘキヲ原則トスルモ本規定ニ關シテハ地方長官ハ特ニ例外ヲ施行スルコトヲ得ルノ權限ヲ有ス

又所有土地仕向ノ肥料並種子ニ關シテハ接境地帶ノ制度ニ於テ特權ヲ有スルモノハ自由ニ輸出及輸入スルコトヲ得ルモノトス

一八〇、吾人ハ陸接國境通商ニ關スル規定ハ最惠國條約ノ一般約款ノ支配ヲ受ケサルモノニシテ單ニ右規定ヲ締結シタル對手國ニ對シテノミ其ノ特權ヲ承認スルモノト解スルコトノ妥當ナルヲ附言シ以下或種ノ國際協約又ハ法律ノ制定セル特殊制度ニ關シ述ヘントス

第二節 各國境ニ施行スル特別制度

第一項 「ベルギー」

一八一、「ベルギー」トノ國境ニハ二種ノ地帯存在シ一ハ千八百十四年十月十三日勅令ニ依リテ制定シ境界線ヨリ兩方ノ國內ニ進出シテ五キロメートル迄ノ地域ヲ國境地帯トシ他ハ千八百九十三年二月十七日法律ヲ以テ其ノ延長ヲ二キロメートルニ短縮シタル地帯トス

註 茲ニ千八百九十二年二月一日終了シタル千八百八十一年十月三十一日ノ「フランス」「ベルギー」條約第十一條ノ「國境ヨリ兩方ニ進ミ十キロメートルノ地帯内ニ所在スル總テノ所有地ヨリノ生産品ニ對シ免稅ヲ規定シタルコト」ヲ参照ニ記ス

以下千八百九十三年二月十七日法律ノ規定ヲ抄録スルニ

第一條 國境ヨリニキロメートル迄ノ地域ノ「フランス」領土内ニ居住シ同時ニ國境ヨリニ

キロメートル迄ノ「ベルギー」領土ノ地域ニ於テ千八百九十二年二月一日以前正規ノ名義ニ依リ土地所有者トシテ又ハ借地人トシテ農業ヲ經營セルモノハ該土地ヨリノ生産品ヲ免

稅ニテ輸入スルコトヲ得

註、千八百九十二年二月一日以前ニ締結シタル契約書ノ繼續ハ暗黙ノ賃貸借更新ニ依リ又ハ記述證書ノ更正ニ依リテ同一借地人ノ權原ヲ損セラルルコトナク行ハルモノトス契約讓渡ノ場合ハ讓受人ハ舊契約ノ期間中千八百九十三年二月十七日法律ノ利益ヲ讓渡人ト同様ニ請求スルコトヲ得

第二條 該產品ハ收穫サレタル時ノ原狀ノ儘即穀物ハ東ノ儘、糧秣、秣根ハ生、其ノ他ハ直

接土地ヨリ收穫シタル儘ノ原状ニテ提示スルヲ要ス

トアリ

註、甜菜ノ果肉及屑ハ討議中ニ於テ「其ノ他ヘ直接土地ヨリ收穫シタル儘」ノモノニ包含スルモノトシテ特惠制度ノ利益ヲ受グルコトヲ承認セラレタリ 收穫品ノ收穫前ニ販賣セラレタル場合ハ買受人ノ二キロメートルノ地帯内ニ居住スルト否トヲ問フ要ナシ

「フランス」ニ居住スル土地所有者ニシテ其ノ特權地帯ニ於テ自ラ農業ヲ營マサルモノハ關稅免除ノ權限ヲ要求シ得サルヲ原則トス

然レドモ千九百一年十二月二十九日法律ハ國境ヨリ二キロメートル迄ノ「フランス」側ノ地帯ニ居住シ同時ニ該地帯及之ニ從屬スル「ベルギー」側ノ地帯ニ於テ農業ヲ營ム小作人ハ假令其ノ借地證書ノ千八百九十二年以後ニ於ケルモノト雖各地帯ノ土地所有權ノ右日附以前ニ現在ノ所有者又ハ其ノ直系ノモノニ屬シタルコト竝以來其ノ所屬ノ中止セサリシコトヲ立證セラルルニ於テハ此ノ免稅ノ特典ヲ享受スルコトヲ得ルモノナリ

一八二、右制度ノ施行ハ左記ノ條件ニ依ルモノトス

第一 當事者ハ千八百九十三年二月十七日法律若ハ千九百一年十二月二十九日法律ノ趣旨ニ基キ各地帯ニ所在スル土地ノ所有權又ハ小作權ニ關シ稅關ヨリ證明ヲ受クルヲ要ス

第二 申告ニハ輸入品ノ特典ヲ受ケ得ル原地ヲ證明スル市町村當局ノ交附スル生産原地證明書ノ添付ヲナスヘキモノトス但シ税關ニ於テ其ノ生産原地ニ關シ何等疑ナシト認メタルトキハ該手續ノ省略ヲナスコトヲ得

第三 特惠取扱ノ利益ヲ要求セントスル耕作者ハ豫メ輸入税關ニ對シ「ベルギー」領土内ノ土地ニ於テ耕作セル耕地面積、其ノ農作物ノ種類及輸出セントスル收穫物ノ概算數量ヲ記述シテ申告スルヲ要ス

千八百九十三年法律ハ地帯ノ延長ニ關スル規定ヲ除キ千八百十四年勅令ヨリモ一層廣義ノ自由ヲ認メ該勅令ノ輸出ニ於テノ統計税免除ニ對スル保障ノ外ハ國境ヨリニキロメートルノ地帯ニ於テモ免税ヲ適用セサリシニ拘ラス右法律ハ國境第一地帯ヨリ後方ニキロメートル迄ノ地帯ニモ施行ヲ許容スルニ至レリ 此ノ領域ニ於テ關税免除ハ領土境界設定ノ際ニ即チ千八百十四年「フランス」ニ所屬シ且無遺言相續ニ依リ又ハ其ノ「直系者」ヨリノ分割ニ依リ直系相續人ニ所有權ノ移轉シタル所有地ノ生産品ニモ免税ヲ適用スルモノトス

註 千八百九十二年十二月四日省令

一八三、又「フランス」ト「ペイ・バ」國間ニ於テ千八百二十年三月二十八日「クルトレ」ニ於

テ調印シ千八百三十年以來引續キ「ベルギー」ト「フランス」ノ關係ヲ支配セル境界條約ハ國境線ニ依リテ分割セラレタル所有土地ニ對シテハ外國領土内ニ所在スル前記土地ヨリノ收穫物ニ互惠的ニ免稅ヲ施行スルコトヲ其ノ第六十六條ニ規定セリ

一八四、千八百八十一年二月十二日ノ協約ニ依レハ國境線ヨリ「ベルギー」側ノ町村ニ於テ開業スル醫師ハ「フランス」ニ入國スル權限ヲ許可セル交通免狀ヲ所有スルニ於テハ其ノ職業上車馬ニ依リ又ハ車馬ニ依ラス自己ノ適當ト認ムル「フランス」「ベルギー」ノ接境道路ヨリ通行スルコトヲ得 此ノ便益ハ稅關官吏ノ要求ニ應シテ其ノ町村ヲ文書ヲ以テ申告シ必要ニ依リテハ其ノ携帶スル醫藥ヲ提示スルヲ條件トシテ附與スヘシト定メタリ

第二項 「スイス及ドイツ」

一八五、千八百八十二年二月二十日協約第一條及千八百七十一年十二月十一日「フランスクホー」條約第十二條ニ依レハ國境ニ於ケル特權地帯ハ國境線ヨリ兩國ニ進出シテ十キロメートルノ地帯ト規定セリ輸出及輸入ニ對スル關稅ノ免除ハ束又ハ有穀ノ穀類、生ノ秣、蕒及草、山林生産品（材木、炭及ポタツス）肥料、種子、植物（之ニハ特ニ野菜及馬鈴薯ヲ含ム）葡萄ノ支柱及竿棒ニシテ特權地帯ヨリ生産スルモノニ施行スルモノトス

注 現行ノ「フランス」定率法ニ依レハ輸出税ノ免除ハ統計税ニ對スルモノノミトス千九百十三年

叙上ノ生産品ノ免稅ハ單ナル申告書ノ提出ヲ以テセラルルヲ通則トス必要ノ場合ニハ特權地帯ノ生産品タルコトノ證明ヲ市町村當局ヨリ受ケ之ヲ右申告書ニ添付ス

注 ドイツ側ノ地帯ノ山林產品ノ「フランス」輸入ニ關シテハ其ノ取扱ニ相違アリ即

一、「ドイツ」側ノ地帯ニ所在スル山林生産ノ木材ニシテ若該山林ノ「フランス」ニ居住シ「フランス」側ノ地帯内ニ土地ヲ所有スルモノニ所屬セシハ「ドイツ」側ノ所有土地ノ「フランス」側ノ所有土地ニ從屬セサルトキハ該木材ノ「フランス」側ノ十キロメートル地帯内ニ於テ消費スルモノナルコトヲ證明セラルル場合ニ於テ常稅輸入ノ認許ヲ與フルモノトス」

二、「ドイツ」側ノ地帯ノ生産材木ニシテ「フランス」側ノ地帯ニ於ケル其ノ消費ニ關シ證明ヲ必要トセサル條件ハ即「フランス」ノ國境地帯ノ土地所有者ニテ「フランス」ニ居住スルモノニ「ドイツ」側ノ材木生産山林所屬シ「ドイツ」側ノ領域ニ於ケル所有土地ノ「フランス」側ノ所有土地ニ從屬スルコトヲ必要トス（千八百九十三年五月二十五日通牒第二九九號ニ依ル）同一ノ互惠主義ノ旅行ニ依リ「ドイツ」地帯ヨリ生産ノ材木、糧秣等ハ土地所有權者自ら自用ノ爲之ヲ輸入スルヲ條件トシ又所有權者ノ爲小作人ノ行フ輸入ニ對シテモ同一ノ規定ヲ準用スルモノトス

故ニ「スイス」トノ國境間ニ於ケル制度ト「ドイツ」トノ國境間ニ於ケル制度トハ絕對均等ノ制度ヲ施行セサルモノナリ此ノ差別制度ハ全然變則ノ制度ニアラス即最惠國條款ハ完全互惠主義樹立ニ對シテ有スル善隣協約ニ適用セサルヲ原則トスレハナリ

特權地帯ノ所有地ノ經營ニ使用スル各種ノ農具及動物ハ同一ノ免稅特典ヲ享受ス

註 千九百八年公布ノ定率法ニ依レハ半稅ハ農業ニ從事セシムル動物及乳用ノ牛ノミニ適用シ又「フランス」輸入ニ關シテハ外國人ニ所有セラル土地ノ耕作ニ使用セラルヘキ動物ニ限り免稅ノ適用ヲ行フトアリ若シ該動物ニシテ他ノ目的ノ爲輸入セラルトキハ關稅ヲ賦課セラルヘキナリ

各種ノ農具ニハ農業用ノ器具機械ヲ含ミ土地耕作ニ使用セラル、總テノ物件ト解スヘシ

同一地帯ニ於テ免稅假輸入ノ取扱ヲ享クル物件ヲ示セバ左ノ如シ

一、兩締約國ノ一方ノ住民ヨリ他ノ一方ニ製粉又ハ製材ノ爲發送スル穀類及木材ニシテ製粉又ハ製材シタル後送還スルモノ

二、兩締約國ノ一方ノ國民ノ其ノ所有地ヨリ收穫セル採油用種子ニシテ他ノ一國ニ於テ製油ヲナサムカ爲送付スルモノ

三、兩締約國ノ一國ノ國民ノ特權地帯ニ於テ耕作シテ穫タル生産物ヲ以テ製造シタル生ノ麻布及糸ニシテ漂白ノ爲他ノ一國ニ送付スルモノ

四、前記地帯ニ於テ收穫セル亞麻及苧麻ニシテ兩締約國ノ一方ヨリ製糸ノ爲他ノ一國ニ送付セラルモノ

同協約ヲ以テ國際牧場ニ關スル規定ヲ協定セリ

關稅免除又ハ輕微ナル有稅品ノ「スイス」又ハ「ドイツ」ヨリ到着スルトキハ無條件ニテ之ヲ免許

スルト雖モ粗布及糸ニ對シテハ其ノ再輸出ヲ保證スル保稅運送免狀ノ附帶ヲ必要トスルモノナ
 リ若送付品ニシテ「ドイツ」又ハ「スイス」へ再輸入目的ノ輸入品ナルトキハ稅關ハ加工ヲナ
 シタル後再輸入品ニ對シ關稅免除ヲ適用センカ爲ノ通過免狀ヲ交附ス 製粉ヲナスヘキ穀物及
 採油用ノ種子ノ產品ニ關シテハ假輸入ニ關スル一般法律ノ規定ニ依リ計算ヲ行フモノトス

註 千八百六十三年六月十七日通牒第九九七號

一八六、善隣關係及ビ接境地帶ノ取締ニ關シテハ千八百八十二年二月二十日ノ「フランス」ス
 イス」協約ノ追加條款ヲ以テ千八百九十五年六月二十五日締結シタリ

註 千九百零六年十月二十日協約第二十七條ニ依リ千八百八十二年二月二十三日協定並千八百九十三年六月二十五日追加條

約ヲ前記協約ノ存續期間中破棄ヲナササル保證ヲ差控ヘタリ

此ノ條款ニ依レハ挽キタル材木（嵌木板ヲ含ム）ニシテ國境線ヨリ兩方ノ領土ニ進出シテ十キ
 ロメートルノ地帶内ノ製材品ヨリ生産スルモノハ其ノ種類ニ從ヒテ最低稅ノ半額ニ相當スル稅
 率ヲ納付シテ兩國相互ニ輸入スルコトヲ得トシ但シ兩國ハ該品ノ一年間ノ輸入數量額ヲ一五、

〇〇〇噸超ユヘカラスト規定セリ

註、木材ノ免稅ヘ關稅總務局長ノ發行スル證券ノ提出ニ依リテ付與シ濫用ノ疑アル場合ノ外當該官吏ハ特惠生産原地ノ事

實運送證券ニ基ク發送狀ノ記載事項ノ検査手續ヲ行フコトヲ省略スヘシ

材木ヲ生産スル製材所ニ最も接近セル税關ヨリ「フランス」ニ輸入スルモノヲ除ク外其ノ發送開始ノ時ヨリ「フランス」ニ輸入スルトキ迄ニ於テ十キロメートルノ「スイス」國境地帯ヲ離レ得サルコトヲ要求スルモノナリ

一八七、國境通商ノ協定ニ於テ兩締約國ノ時計工業ノ作業ヲ容易ナラシメンカ爲千九百六年十月二十日「フランス」「スイス」ノ協約ハ裝飾加工ヲ「スイス」ニ於テ行ハンカ爲「フランス」ヨリ「スイス」ニ關稅免除ニテ送付シタル時計ノ再輸入ニ對シ免稅ノ規定ヲ定メタリ 此ノ免稅ノ特典ヲ受クルニハ各梱ニハ一打以上ノ個數ノ時計ヲ包裝セサルコト並再輸入ヲ三ヶ月ノ期間内ニ實行スヘキコトヲ條件トセリ 「フランス」税關ニ於テハ再輸入ノ際ノ時計ノ同一ヲ確保スル爲適當ノ検査ヲ施行シテ取締手續ヲナシ同一物ノ檢證ヲナスニ何等ノ困難ヲ見サル程度ニ右通過免狀ニ記錄シテ之ヲ交附シ必要ニ依リテハ證印ヲ押捺スル方法ニ依ルコトアリ

註 然レトモ規定刻印ニ關シ疑ナキトキハ證印保證ノ手續ヲ省略ス

修飾加工後「フランス」ヨリ「スイス」ニ發送ノ時計ハ互惠的ニ「スイス」ニ於テ關稅ノ免除ヲ行フモノトス「フランス」ノ時計工場ニ於テ修繕スル目的ヲ以テ「スイス」ヨリ「フランス」ニ送付スル時計ニ關シテハ假輸入制度ノ下ニ取扱ヒ同一物件ノ檢證ニ對スル手續ヲナシ必要ノ場合ハ證印押捺ノ取扱ヲ行フモノナリ

「スイス」ヨリ「フランス」ニ貨貨契約ニ依リ運送スル「ピアノ」ニ對シテハ六ヶ月ノ期間假
 免稅輸入ノ取扱ヲ享クルコトヲ得ヘシ「フランス」ヨリ「スイス」ニ運送スル「ピアノ」ニ對
 シテモ亦同一ノ特典ノ適用ヲ行フモノトス

一八八「フランス」及「スイス」國境町村ニ免狀ヲ有シテ開業スル獸醫ニハ右町村ニ於テ少量
 ノ醫藥ヲ販賣又ハ送付スルコトヲ許容セリ又其ノ輸入ニ對シテハ兩國共關稅ノ免除ヲ之ニ實施
 セリ

註 千八百八十九年五月二十九日協約

第三項 「イタリー」

一八九、千八百八十八年ニ於ケル「フランス」「イタリー」通商條約ノ不調ハ千八百六十一年三月
 三十一日協約ニ依リテ制定セラレタル善隣關係ニ變更ヲ及ホスノ効果ナク兩締約國臣民ノ善隣
 關係ハ相互ノ利害關係上經濟逼迫時代ヲモ通シテ存續セラレタリ

本協約ノ第三條ニ依レハ併合條約ノトキ（千八百六十年三月二十四日）ニ於テ「ヒエ・モン」ニ
 所在シ且國境線ヨリ五千メートル以内ニ於ケル土地ノ所有權者タル「フランス」人竝同日同地

域内ニ於テ「フランス」ニ所在スル土地所有權者タル「ビエ・モン」人ハ右所有地ヨリ生産品ノ「フランス」又ハ「サルド」國ヘ「輸入輸出共何等ノ關稅ヲモ賦課セラルコトナク」運搬シ得ルモノニシテ又同一ノ免稅ヲ同地帶ノ原產品タル挽材、獸乳、乾酪、「バター」及羊毛ニモ適用セラルモノトス又「サルド」國ニ於ケル土地所有者タル佛人、「フランス」ニ於ケル土地所有者タル「ビエ・モン」人ハ其ノ所有土地ニ使用スル肥料及必要ノ種子ヲ一國ヨリ他ノ一國ニ免稅ニテ輸入スルコトヲ得ルモノトス

接境所有地域ニ生産スル前記第三條ニ掲記セル生産品ノ免稅輸入及輸出期間左ノ如ク規定セリ

一、材木、獸乳、バター、乾酪、羊毛、肥料及播種用種子ニ對シテハ一年間

註「モン、ゼニ」ニ於テ製造スル乾酪ノ免稅輸入ニ對スル期間ヲ太陽曆年末ニアラサル第九條ニ依テ規定セル毎年ノ申告ヲナシタル日ヨリ一年ト定メタリ同規定ハ「バター」ニモ適用ス

一、葡萄收穫期ノ產品(葡萄液及糟粕及醱酵中ノ葡萄酒)ニ對シテハ收穫期ヨリ十一月末日迄

一、生ノ橄欖、蜜柑柑橘類ノ果實ノ花及葉ニ對シテハ收穫期ヨリ翌年四月迄

註、「サルデーヌ」「フランス」間ニ締結シタル千八百六十一年三月三十一日境界條約第三、十及第十三條

一九〇、輸入ニ於テ關稅免除ヲ享受センカ爲ニハ「バター」及乾酪以外ノ產品ハ耕作地ニ於ケ

ル慣習ニ依リテ收穫シタル原狀ノ儘ニテ税關ニ提出スルヲ要シ材木ハ特ニ粗材ノ儘ナルヲ必要トス穀類ハ脱穀又ハ落穂セルモノヲ許サス

但シ該品ノ運搬カ動物ニ依ル地方ニ於テハ穀粒トナシ輸入スルコトヲ得ルモノトス叙上ノ產品ノ免稅輸入ハ申告書及所有權書類ノ提出ヲナシタル税關以外ヨリ實行スル事ヲ得ス且各送品ニハ所有權者ノ其ノ所有地ヨリ協約ニ從ヒテ實際ニ生産セル數量ナルコト並該品ヲ更ニ販賣セサルコトヲ保證スル特別ノ申告書ヲ添付スヘキモノトス

註 千八百六十一年三月三十一日「フランス」サルデーニユ」間ノ境界條約第四條及第十一條、所有權書類及毎年ノ申告書ハ前記一般規定ニ依リ行ハルモノトス

小作人ハ「フランス」人タルト「ビエ・モン」人タルトニ論ナク土地所有權者ト同一ノ權限ニ於テ同一條件ニ依リ接境地帯ノ所有權者ニ許容スル特權ヲ享受スルモノトス

千八百六十一年協約ハ輸出税ノ消滅中ナリシ時代ニ於テ締結セラレ且該關稅ノ免除ト同時ニ統計稅ヲモ輕微ナル稅率ニ低減シ現在ニ於テハ「フランス」人タル「イタリー」ニ於ケル所有權者「イタリー」人タル「フランス」ニ於ケル土地所有權者ニ對シ境界決定ノ當時同一土地ノ所有權者タルト其ノ直系ノ相續者タルトヲ調査スルコトナク右利益ノ享受ヲナサシムルモノナリ

反之千八百十四年十月十三日勅令ニヨリテ其ノ原則ヲ批准セラレタル協約ハ輸入ニ於ケル免稅ノ施行ニ對シ國境更正ノ際ニ他國人ニ附屬シタル土地ノ生産品ニノミ適用スルコトヲ規定セリ然ルニ上記ノ所有權ハ千八百十四年ノ制度ト異リ其ノ利益ヲ失フコトナク傍系ノ一親等ニ對シ繼承スルコトヲ得ルモノナリ使用收益權者ハ所有權ノ直系ノ相續者又ハ傍系ノ一親等ニ繼承スルトキニハ等シク其ノ特權ヲ保有セラルモノトセリ且「モン・ゼニ」ノ所有土地ニ關シテハ其ノ所有權ノ移轉ニ對シ何等ノ制限ヲ附スルコトナク其ノ生産品ノ「フランス」輸入ニ際シテノ關稅免除ニ對シテハ唯前記土地ノ「フランス」人ニ所屬スルノミヲ以テ足レルモノトセリ

註 千八百六十一年三月七日「フランス」「サルド」協約第九條及第十條ノ解釋ニ關シ發生シタル支障ヲ除カンカ爲兩國政府ハ左記ノ規定ヲ承認シタリ

「モン・ゼニ」ノ牧場所有權者借地人又ハ小作人ニシテ關稅免除ノ利益ヲ享ケント希望スルモノハ本件ニ關シ委任ヲ受ケタル「イタリー」官吏ニ其ノ土地ニ入牧スル各家畜ノ頭數、種類ノ申告書ニ左記書類ヲ添付シテ提出スヘシ

(イ)「サヴォア」ヲ通過シテ高地ニ入牧セシムル家畜ニ對シテハ「フランス」稅關ヨリ交附ノ通過免狀

(ロ)「イタリー」ヨリ連行シタル家畜ニシテ同一高地ニ入牧セシムルモノニ對シテハ「イタリー」稅關ノ交附セル假牒

出證

協約第九條及第十條第一項ニ規定セル申告ニシテ「バター」及乾酪ニ關スルモノハ毎年八月三

十一日以降ハ「イタリー」税關ニ於テハ取扱ハサルモノトス

申告ト同時ニ「フランス」及「イタリー」税關ノ上記ノ書類ヲ提出スヘシ

各所有權者ノ「イタリー」ニ免税輸入權ヲ有スヘキ群獸ノ生産數量ヲ設定センカ爲「イタリー」

税關ハ該群獸ノ「フランス」ニ歸還後「フランス」税關ニ就キ確證ヲ受クルコトヲ得

各所有者ニ對シテ指定スヘキ生産數量ハ左記ノ割合ヲ以テ收穫量ト期間ヲ定メタリ

(A) 牝牛各一頭一日ニ付
 「モン・ゼニ」ノ腐熟乾酪 〇、七一〇^十
 「グリュール」ノ乾酪 〇、六五〇

(B) 牝山羊各頭一日ニ付
 乾酪 〇、〇五一
 バター 〇、〇一九

(C) 牝羊各頭一日ニ付ハ乾酪 〇、〇四八

以上ノ數字ハ「フランス」税關官吏及同等ノ「イタリー」税關官吏ヨリ前記數字ノ實際ニ比較シ著シク最下位又ハ最上位ニアルコトノ反證ヲ得ルニアラサレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

尙バターニ對スル數量モ牝牛牝山羊一頭宛ノ一日ニ付テノ免税輸入最高數量トス

關稅免除ニテ「イタリー」ニ輸入スヘキ群獸ヨリノ生産額確定基礎ニ行使スヘキ家畜頭數ノ決定

ニ關シテ起ル面倒ヲ避ケンカ爲兩締約國政府ハ各自ノ稅關ニ對シ通過免狀及假輸出證ニ乳牛、乳山羊、乳羊、及幼獸「牝ノ仔牛、牝ノ仔山羊、牝ノ仔羊及去勢セル幼獸等」ノ頭數ヲ各別ニ又其ノ他ノ乳出セサル家畜ヲモ各別ニ精細記述セシムヘキ訓令ヲ發スヘシ

協約第十條ニ關スル件——「モン・ゼニ」ニ於テ製造セル乾酪ノ一部ノ未成品ニシテ大陽曆年末ニ當リ未タ商品ノ形狀ヲ備ヘサルコトヲ認メラレタルモノノ乾酪及「バター」ノ免稅輸入有效期間ハ協約第九條ニ規定セル稅關ニ對シ右ニ關スル申告ヲナシタル日ヨリ一年間延長スルコトヲ得

若シ八月三十一日迄ニ申告ノ提出ナキトキハ乾酪及「バター」ノ免稅輸入有效期間ハ翌年ノ八月三十一日ヲ以テ終了トス

尙國境ト「アルプス」山嶺間ノ「ゴラ・ランガ」ヨリ「モン・クラビエ」ニ至ル地帯内ニ於テハ國境ヨリ多少ノ距離ヲ有スル所有土地ハ「フランス」人又ハ「イタリー」人ニ所屬スルト否トニ關係ナク又「フランス」側ノ地帯ノ產品ナルト「イタリー」側ノ地帯ノ產品ナルトニ差別ナク關稅ノ免除ヲ總テ互惠的ニ施行シ又「アルプス」山嶺外ニ延長セル「フランス」ノ町村民ハ右山嶺ノ後方ニ在ル其ノ所有土地耕作ニ對シ同一ノ免稅ヲ享クルモノトス 產品ノ自由輸入權ハ所有權移轉

ノ方法ニ依リテ「フランス」人ニ所有權ノ附屬シタル土地ヨリ生産スル以上享受セラルル規定ナリ

註 千八百六十一年三月三十一日協約第四條及第五條「ゴラ・ランガ」及「モン・クラビエ」ニ於テ「イタリー」税關

ハ「アルプス」山嶺ヨリ進出スルコトヲ得ス「モン・ゼニ」附近ニ於テハ其職權ノ行使ハ「ランススレアルゲ」ト「アルマン」町村ノ舊境界線ニ限定セラル（協約第六條）

「モン・ゼニ」及「ゴラ・ランガ」ヨリ「モン・クレビエ」ニ至ル國境線ト「アルプス」山嶺間ニ包含スル地帯ニ於ケル犯則及違反ニ關シテハ該地帯ノ所屬スル「フランス」町村ノ田園看守ニ依リテ檢證ヲ行ハルモノトス（協約第七條）

第四項 エ ス バ ニ ュ

一九一、「フランス」ノ南西ニ於テハ東北ニ於ケルカ如キ國境ノ變動ヲ生シタルコトナシ 約一
世紀以來佛西兩國ノ關係ヲ維持シタル協約ハ單ニ國境線ノ修正ニ關係ヲ有スルニ過キス 上記
ノ協約ニ於ケル特別條款ノ「國境人」又ハ國境附近ニ於ケル「フランス」低地ニ居住スル人民
ニハ町村民團ヲ以テ對立スル低地ニ居住スル「エスバニア」人ト善隣關係ヲ規定スル協定ヲ取
極メル爲ニ協議スルコトヲ承認シタルハ實際例外的特質ヲ成セルモノト云フヘシ

註 但シ該協定ノ效力爲生ニハ兩國行政府ノ承認ヲ要ス而シテ關稅ニ付テハ單ニ家畜入牧ニ關スル所ノミニテ又入牧家畜
ノ兩國領土入國ニ際シテハ通過免狀ヲ伴フヘキモノナリ

一九二、又千八百五十六年十二月二日、千八百六十二年四月十四日及千八百六十六年五月二十

六日境界條約ノ追加條款第七條ヲ以テ「國際線ヲ分割スル」農地ノ收穫物ニ對シ特惠制度ヲ設ケ接境地帶ニ所在スル所有地ヨリ生産スル物品ニ對シテハ生産地主ノ「フランス」人又ハ「エスバニユ」人タルトニ論ナク又其ノ居住地ノ國境ヨリ幾何ノ距離ヲ有スルニモ拘ラス免稅規定ヲ設ケタリ 從テ「フランス」領土ニ居住スル者ノ「エスバニユ」領土ニ在ル所有地ヨリノ收穫物ハ免稅ニテ「フランス」ニ輸入スルコトヲ得 一方「エスバニユ」領内ニ居住シ「フランス」領内ニ在ル土地所有者ハ同一條件ニテ所有地ノ生産品ヲ免稅ニテ「エスバニユ」ニ輸入スルコトヲ得ルモノナリ

次ニ之ニハ國籍ニ附帶スル特權アリ 外國領土ニ居住スルモノノ土地所有者ハ同一ノ權限ヲ有シ其ノ收穫物ヲ全部集メタル後之ヲ自國領土ニ送邊スルコトヲ得ルモノトス

註 千八百九十七年十二月十一日通牒第二八六〇號

右制度ノ特惠ハ特權生産原地ニ關シ市町村當局ノ何等ノ疑ナキトキハ申請者ニ交附スル生産原地證明書ノ提出ニ依リ認許スルモノトス

一九三「アンドール」共和國——千八百六十七年十一月二十二—二十三日ノ一協約ヲ以テ「フランス」ニ於ケル「アンドール」人ノ生産品及「アンドール」ニ於ケル「フランス」人ノ生産品

ニ對シ互惠的ニ免稅輸入ヲ規定シタリ。然レトモ煙草及其ノ他ノ物品ニシテ「フランス」ノ立法上特殊制度ニ置カルルモノハ「ヴァレ」ヨリ「フランス」ニ輸入ノトキハ該特殊制度ノ規定ニ依ルコトトセリ。「アンドール」ノ家畜ニ對スル免稅ハ「フランス」司法行政官ノ監督ノ下ニ必要ト認メラレタルトキ施行スル調査ニ依リ檢證セラレタル現在數ノ三分ノ一ニ限定セラルモノトス。

第三章 「モナコ」公爵領

一九四、「ニース」伯爵領ト「フランス」ト併合シタル其ノ翌日「モナコ」公爵領ノ境界ニハ他ノ國境ニ於ケル如ク一ノ關稅線ノ設定ヲ見タリ。爲之「モナコ」公爵領政府側ニ於テハ當時己ニ其ノ領土ノ境界線ニ關稅網ヲ設定シアリタルヲ以テ「モナコ」「フランス」領土間ニハ不斷ノ通商上理由ナキ支障ヲ醸スニ至レリ。

一九五、千八百六十五年九月九日調印セラレタル關稅協約第二條ノ「フランス」關稅定率法ノ輸出入稅、「フランス」法律ヲ以テ規定セル航海稅、鉛封及證明料並關稅制度ニ關スル一般法律、勅令、訓令、及規程ヲ「モナコ」公領ニ施行スヘシ」トノ規定ニ依リ上記ノ支障ハ一掃セラレ

タリ

依之關稅線ハ唯海岸線ノミニ限定セラレ而モ「フランス」ノ關稅線ヲ「モナコ」公領ノ全海岸線ニ延長セシメ以テ「フランス」ノ關稅制度ヲ此ノ領土ノ全域ニ施行スルニ至リタリ「モナコ」公領ニ於テハ關稅、航海稅及鹽ノ內國消費稅ノ徵收ハ同協約第九條ニ依リ「フランス」ノ國庫ノ爲「フランス」行政廳ノ監督ノ下ニ施行セラル

註 公領ニ於テ徵收ノ航海稅ニハ「フランス」船籍稅ヲ含マサルモノトス

之ト交換ニ公爵ハ關稅收入高ノ如何ニ拘ラス最初年額二〇、〇〇〇法ノ補償金ヲ收入シ又徵收費用二五%ヲ控除シタル純收入ニシテ二〇、〇〇〇法以上ノ借越高ヲ生シタルトキニ剩餘額ハ

「モナコ」國庫ニ之ヲ保留スル取極ヲナシタリ

註 千八百六十五年九月九日協約第十條ニ依ル、然ルニ此ノ補償決定法ハ兩締約國間ニ於テ多大ノ障礙ヲ生シタリ

「モナコ」公領ニ入國スル、外國旅客ノ徵増ニ伴ヒ消費、需用額ノ增加ハ「モナコ」政府ヲシテ之ト平衡シタル關稅收入ノ増進ヲ希望セシムルト同時ニ歸結的ニ「フランス」國庫ヨリ繰越スヘキ剩餘額ノ增加ヲ計ラシムルニ至リタルモ實際ニ於テ此ノ剩餘額ハ割引額ノ比例ニ達セザリシモノナリ千八百六十五年ノ修正條款ニ於テハ事實上海上輸入貨物ヨリ徵收スル關稅獨リ公領ノ唯一ノ財源ヲ成シタルモノニシテ陸上輸入ノ貨物ハ「フランス」國境ニ於テ或ハ與地稅關ニ於テ通關セラレ而モ多クノ場合ニハ其ノ提出物件ノ實際ノ仕向地ヲ確認スルノ方法ナクシテ唯國內消費仕向ノモノトシテ關稅ヲ徵收シ關稅事務ヲ扱ヒタルモノナリ此ノ取扱狀態ノ改正ノ目的ヲ以テ最初千八百九十九年三月十日訓印セラレタル遺

加協ヲ以テ「モナコ」停車場ニ對シ國際通過制度ノ原則ヲ承認シ貨物ヲシテ税關鉛封ノ下ニ「フランス」關稅線ヲ通過セシメ輸入關稅ハ公領ノ到着地ニ於テノミ徵收シ他面ニ於テハ「フランス」國庫ト公領國庫トノ間ノ收入ノ分配上新基礎ニ依ルヘキコトヲ規定セリ之ニ依レハ「フランス」國庫ハ國際通過事務施行上「モナコ」輕開放ニ對シ必要ナル人件費相殺額トシテ一五、〇〇〇法ヲ第一ニ收入シ次ニ二〇、〇〇〇法ヲ公領ノ金庫ニ納付シ剩餘金ニ關シテハ九〇、〇〇〇法迄二五%ヲ「フランス」ノ收得ニ七五%ヲ「モナコ」ノ收入ニ分配シ而シテ九〇、〇〇〇法以上ノ過剩金ハ兩國ニ於テ半分スル規定ヲ協定セルモノナリ

右ノ改正協定ハ千九百年七月二十六日批准セラレ同年七月三十一日公布セラレタルモ其ノ實施ニ附帶スル條件ハ不實行ノ儘ニ換言スレハ國際通過制度ニ「モナコ」輕開放セラレザリシナリ

千九百十二年四月一日決議セラレタル新協定ハ千八百六十五年ニ承認シタル關係ヲ撤廢シ協約ノ財政的條件ヲ根底ヨリ改正シ以テ關稅收入數字ト補償額トノ間ニ於ケル規定ニ關シテハ千八百九十九年ノ條件ヲ維持シ其ノ第十條ノ條項ニ爾今四〇〇、〇〇〇法ノ收入ヲ請負額ト定メ千九百八年ノ人口調査ニ基キテ一千人ノ人口ヲ増ス毎ニ二〇、〇〇〇法ノ増加ヲナスコトトシ右ニ關スル人口調査ハ五年毎ニ一月一日ニ新タニ施行スヘキコトヲ取極メタリ

千九百十二年ノ協約ハ關稅制度、關稅、統計稅、航海稅、鉛封又證明料、砂糖、鹽、及其ノ副產品ノ稅ニ關シテハ千八百六十五年ノ條項ヲ採用セリ(第一、二、五及第九條)又該協約ハ官私設保稅倉庫ノ特權「フランス」及「アルゼリー」以外ニ再輸出スヘキ貨物ニ對スル假輸入許可ノ特典ニ關シテハ「モナコ」領土ニ於テハ「フランス」領土ニ於ケルト同ノ條件ニ於テ承認シ更ニ「モナコ」驛ヲ「パリ・リオン・メグイテイラネ」會社ノ貨物藏置及檢査ニ必要ナル場所並關稅事務取扱ニ對スル施設ノ提供ヲ條件トシテ國際通過事務取扱ノ爲開放ヲナスコトヲ規定セリ

右協約ニ依リ「モナコ」政府ハ編成スヘキ稅關官吏ニ對スル俸給、手當並貿易増進ニ伴ヒ必要ナル施設、關稅事務廳舎、埠

頭ニ於ケル事務所ノ設置ニ對スル費用ハ「フランス」國庫ヨリ支給スル三、三八〇法以外ハ全部負擔スヘキモノト規定シ又「フランス」ニ於ケル内國稅品又ハ政府專賣品タル貨物ニ關スル協約ヲ完全ニ改正セリ 叙上ノ取極ノ大部分ハ千八百六十五年協約ニ包含セルモノナリ

「モナコ」稅關ニ於テ執行ノ檢査竝徵稅ニ關シテハ各其ノ年度末ニ於テ公爵ニ報告スヘキモノトセリ

一九六、「フランス」ニ於テ軍需品ノ輸入、輸出、運送ヲ支掌スル法律竝特殊規定ハ之ヲ公爵領ニ於テ施行スヘキコトヲ千八百六十五年九月九日協約第八條ヲ於テ規定セリ

公爵領仕向ノ煙草ハ「ニス」ニ於ケル專賣局倉庫ヨリ引取り之ヲ殆ント原價ニ等シキ價格率ヲ以テ公爵領ノ官憲ニ賣渡スモノトス

註 千八百六十五年九月九日協約第六條ニ依ル販賣價格ヲ簡單ニセンカ爲其ノ率ヲ次ノ如ク規定セリ

發澤煙草Ⅱ「フランス」消費者ニ販賣スル價格ヨリ四〇%ヲ低減セル價格

普通販賣ノ細卷煙草Ⅱ「フランス」消費者ニ販賣スル價格ヨリ七〇%ヲ低減セル價格

其ノ他ノ制限販賣品及普通販賣品及「フランス」消費者ニ販賣スル價格ヨリ八〇%低減セル價格

上記ノ煙草ハ「モナコ」地方官憲監督ノ下ニ「フランス」ニ於テ現行ノ價格率ヲ以テ販賣スヘキモノトス

註 輸入者自用目的ノ煙草ニ關スル千八百八十一年五月七日及千八百九十二年一月十一日法律ノ施行規則ハ「モナコ」公

領ニ於テハ左記條件ノ下ニ之ヲ施行スルモノトス

一、「モナコ」公領勤務ヲ命セラレタル「フランス」税關官吏ハ千八百九十九年十一月十九日附「モナコ」公ノ勅令ヲ以テ規定セル犯罪則ヲ檢證スルニ於テ適格者タルコト

公領裁判所獨リ之等ノ違反ヲ審理スル職權ヲ有スルコト

二、公領住民ノナス輸入許可願ハ「ニース」ニ於ケル税關長ニ提出シ該税關長ハ間接税ニ關スル通牒第三百十三號ヲ以テ規定セル條件ニ依リ地方官憲ノ執行スル調査後右申請ニ對スル決定ヲ與ヘ「モナコ」ニ於ケル徵稅官吏ニ於テ煙草ノ信用名義人ノ居住所ヘノ送達及保稅運送手續ノ取扱ヲナスモノトス

輸入許可ハ公領總督ノ適當ナル裁可ヲ經タル後ニアラサレハ其ノ效力ヲ生セサルモノトス「モナコ」ニ於ケル煙草ノ輸入手續ハ常ニ右手續ヲ先ニ行フヘキモノトス

國境税關ニ於テハ輸入許可書ノ提出ヲ要求スルコトナク「パリ」税關ヘノ運送ニ關シ規定セラレタル條件ニ於ケル通過（保稅運送）手續ノ下ニ「モナコ」ニ煙草ノ運送ヲ實行スルコトヲ承認セラルモノトス此ノ場合ニハ仕向地ニ於テ右許可手續ヲ完成スヘキモノトス

公爵領ニ於テ製造ヲ禁止セル狩獵用、鑛山用及戰用ノ火藥類竝遊戯用骨牌類ハ「フランス」ニ於ケルト同一條件ニ依リ「フランス」製造所ヨリ「モナコ」行政廳ニ供給セラルモノトス

註 千八百六十五年九月九日協約第七條ニ依ル公爵領ニ於テ消費スル爲販賣セル火藥及煙草ハ再輸出スルコトヲ得

遊戯用骨牌ハ「フランス」製造家ヨリ輸出仕向ノ手續ト同一條件換言スレハ專賣局ノ免狀ヲ添

付シ鉛封ノ下ニ發送スヘキモノニシテ「モナコ」到着ニ當リテハ稅關官吏ヨリ當該貨物ノ檢査ヲ受ケタル後「モナコ」官吏ニ引渡ヲナスヘキモノトス而シテ「モナコ」官吏ハ「フランス」ニ於テ施行スル骨牌稅ニ相當スル稅金ヲ徵收スヘキモノトス

一九七「モナコ」國船舶ハ「フランス」ニ於テハ「フランス」船舶ト同一ノ取扱ヲ受クルモノニシテ兩國ノ稅關同盟協約ハ他ノ政府ト締結シタル航海條約ノ如ク沿岸航海及沿岸漁業ニ關スル保留ヲ規定セス 國籍證書ハ公爵ノ名義ニ於テ「モナコ」政府ヨリ交附セラレ外國建造ノ船舶ハ關稅ヲ賦課スヘキコトヲ規定セリ（千八百六十五年九月九日協約第四條）

一船舶ノ「モナコ」公領國籍ニ關シテハ千七百九十三年九月二十一日「フランス」航海法規竝船舶所有者及船員組織ニ關スル其ノ後ノ「フランス」法律ノ規定ニ依リ支配セラルモノトス公爵旗掲揚ノ船舶、千九百十二年一月一日附迄ニ「モナコ」公領ノ國旗掲揚ヲ正規ニ許可セラレタル船舶竝五名以上ノ船員ヲ有セサル漁船ニシテ其ノ漁獲物ヲ「モナコ」ニ於テ販賣スルモノニ對シテハ之等ノ規定ハ適用セサルモノトス（千九百十一年十月二日省令）

印紙及登錄ニ關スル「フランス」法律ハ「モナコ」公爵領ニ於テハ施行セサルヲ以テ「モナコ」稅關ニ於テハ外國ニ於テ作成セル船荷證券ニ對シテハ千八百七十二年三月三十日法律ヲ以テ設

定セル課税ノ徴收ヲ行ハス 從テ「モナコ」公領ニ於テ作成セル船荷證券ノ「フランス」港ニ於テ提出セラルル場合ハ外國ヨリノ船荷證券ト同様ニ徴税ヲ行フ必要ヲ生スルモノトス

一九八、關稅同盟ノ結果「モナコ」公領ニ施行セラルルニ至リタル關稅法規ニ對スル違反ニ關シテハ「ニース」裁判所管内ニ所在スル「フランス」行政官憲ノ申立ニ依リ訴追ヲ行フヘキモノニシテ等シク此ノ裁判所ニ於テ違反調書ヲ登錄シ判決ヲ下スモノトス「フランス」裁判所ニ出廷ヲ命スヘキ召喚ニ關シテハ「フランス」官憲ノ審議ニ依リ決定スルト雖其ノ召喚ノ傳達ハ公領ノ執達吏又ハ官吏ニ依リテ行ハルルモノニシテ此等判決ノ執行モ亦公領ノ裁判所屬官吏ニ委任ス 然レドモ「フランス」裁判ニ依リテ判決ノ禁錮ニ對シテハ「フランス」ニ於テ執行スルモノトス(千八百六十五年九月九日協約第十三條)

一九九、「モナコ」公領ニ於テハ關稅以外ニ公爵ノ收入トシテ酒精、アブシント酒、オ・ド・グイ酒、リキユール酒及其ノ他公領ニ輸入シ又ハ公領ニ於テ製造セル特掲ナキ酒精含有飲料ニ對シテ「モナコ」ニ駐在スル「フランス」稅關官吏ヨリ特別消費稅ヲ徴收スルモノナルカ該內國稅率ハ「フランス」ニ於ケルカ如ク純酒精「ヘクトリツトル」ニ付二二〇法ト規定セリ工業用又ハ家庭用ニ使用目的ヲ以テ變性セル酒精ニ對シテハ單ニ純酒精「ヘクトリツトル」ニ付〇、

二五法ノ統計稅ヲ賦課スルニ過キス（千八百九十五年二月二十一日「モナコ」公爵令）

「モナコ」ニ於テハ「フランス」モナコ」公領ノ酒精並關稅納入ニヨリテ内國品トナリタル外國酒精ニ對スル保稅倉庫及假保稅倉庫ニ於テ「フランス」稅關官吏監視ノ下ニ右ニ對スル事務ヲ取扱フモノトス

燐寸ノ製造及販賣ハ千八百九十一年十二月十二日付公爵令ノ規定ニ依レハ此ノ販賣價格ヲ決定スヘキ政府ノ許可ニ附屬スヘキモノニシテ同時ニ「モナコ」領又ハ「フランス」原產品以外ノ燐ノ消費ハ禁止セラレタリ而シテ「フランス」製造燐寸ハ之ヲ規定ノ價格率ヲ以テ個人ニ販賣スヘキ公爵領收府ニ專賣管理局ヨリ引渡スヘキモノトス（千八百九十一年六月二十四日追加終局議定書）

二〇〇、課稅未納ノ砂糖並其ノ他ノ砂糖及貨物ニシテ假輸入ニ對スル會計上ノ計算未濟ノモノハ何レモ「フランス」ヨリ公爵領ニ發送スルコトヲ得サルモノトス外國產砂糖ニ關シテハ「フランス」ニ施行ト同率ノ附加稅ヲ賦課ス

昭和三年三月二十八日 印刷
昭和三年三月三十一日 發行

朝鮮總督府財務局

會社名
近澤印刷部